

# 高山市都市基本計画

令和 3 年 1 月

高 山 市



# 目 次

## 第1章 基本事項

1. 策定の背景 . . . . . 1
2. 目的 . . . . . 2
3. 計画の位置付け . . . . . 2
4. 対象区域 . . . . . 2
5. 計画の構成 . . . . . 3
6. 目標の時期 . . . . . 3

## 第2章 都市づくりの現状と課題

1. 都市づくりの現状 . . . . . 4
2. 都市づくりの課題 . . . . . 19

## 第3章 都市の将来像

1. 基本理念と都市像 . . . . . 21
2. 将来人口の設定 . . . . . 21

## 第4章 全体構想

1. 都市構造の基本的な考え方 . . . . . 22
2. 将来都市構造 . . . . . 24
3. 分野別方針 . . . . . 31

## 第5章 地域別構想

1. 地域区分の考え方 . . . . . 35
2. 地域別の方向性 . . . . . 35
  - 高山地域 . . . . . 36
  - 丹生川地域 . . . . . 40
  - 清見地域 . . . . . 43
  - 荘川地域 . . . . . 46
  - 一之宮地域 . . . . . 49
  - 久々野地域 . . . . . 52
  - 朝日地域 . . . . . 55
  - 高根地域 . . . . . 58
  - 国府地域 . . . . . 61
  - 上宝・奥飛騨温泉郷地域 . . . . . 64

## 第6章 計画の推進

1. 協働ですすめる都市づくり . . . . . 67
2. 計画の見直し . . . . . 67





# 第1章 基本事項

## 1. 策定の背景

高山市では、平成6（1994）年3月に高山市都市基本計画を策定し、平成13（2001）年3月と平成24（2012）年3月には社会情勢の変化や市町村合併を踏まえた見直しを行い、本計画に基づく都市づくりをすすめてきました。

そのようななかで、本市においては人口減少や少子高齢化が進行しており、今後の都市づくりにおいては、次のような課題が顕在化していくことが予想されます。

- ・居住区域の低密度化による地域コミュニティ機能や地域活力の低下、生活インフラや行政サービスの非効率化
- ・生活関連サービスや事業所の撤退・縮小による日々の医療や買い物等の利便性の低下
- ・空き家・空き地など遊休地の増加による景観や治安の悪化、防災性の低下
- ・就業者の減少や需要の減少による商工業の衰退、地域経済の縮小
- ・耕作放棄地や荒廃した山林の増加による農林業の衰退と防災性の低下、景観の悪化

さらには、老朽化や利用需要に対応した公共施設等の更新・適正配置、情報通信技術の急速な発展、地球規模の気候変動による大規模災害の頻発への対策などの課題に対応するため、全市的な都市基盤の強化が求められています。

また、令和2（2020）年3月には本市の最上位計画である第八次総合計画の見直しを行い、市がすすめるべきまちづくりの方向性の明確化を図り、大幅に体系を変更するとともに、新たに各地域におけるまちづくりの方向性を示したことなどから、その見直しを踏まえて対応を図る必要があります。

こうしたことから、特に広大な面積を有する本市にあつては、全市的な観点から都市づくりをすすめる必要があるため、対象区域を都市計画区域から市全域へと拡大した新たな計画として、高山市都市基本計画を策定し、将来にわたり持続可能な都市づくりを推進することとします。

## 2. 目的

本計画は、本市を取り巻く状況に対応し、将来にわたり持続可能な都市づくりを推進するため、長期的な展望に立った都市構造のあり方や土地利用の方向性など、本市の都市づくりに関する基本的かつ総合的な方針を示すことを目的とします。

### 都市基本計画の役割

- 実現すべき都市の将来像を示すとともに、都市づくりの基本的な考え方や将来の都市構造、土地利用方針などを具体的に示します。
- 今後の都市づくりに関する個別・具体的な都市計画の決定や変更の際の根拠を示します。
- 本市の将来像を明らかにすることにより、市民等の都市づくりへの理解と参加を促します。

## 3. 計画の位置付け

本計画は、都市計画法第 18 条の 2 に規定される「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として位置付けることとし、都市計画法第 6 条の 2 に基づき県が策定する「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（高山都市計画区域マスタープラン）」、まちづくりの方向性等を定めた「高山市第八次総合計画」に即して定めるとともに、本市の各種計画との整合を図ります。

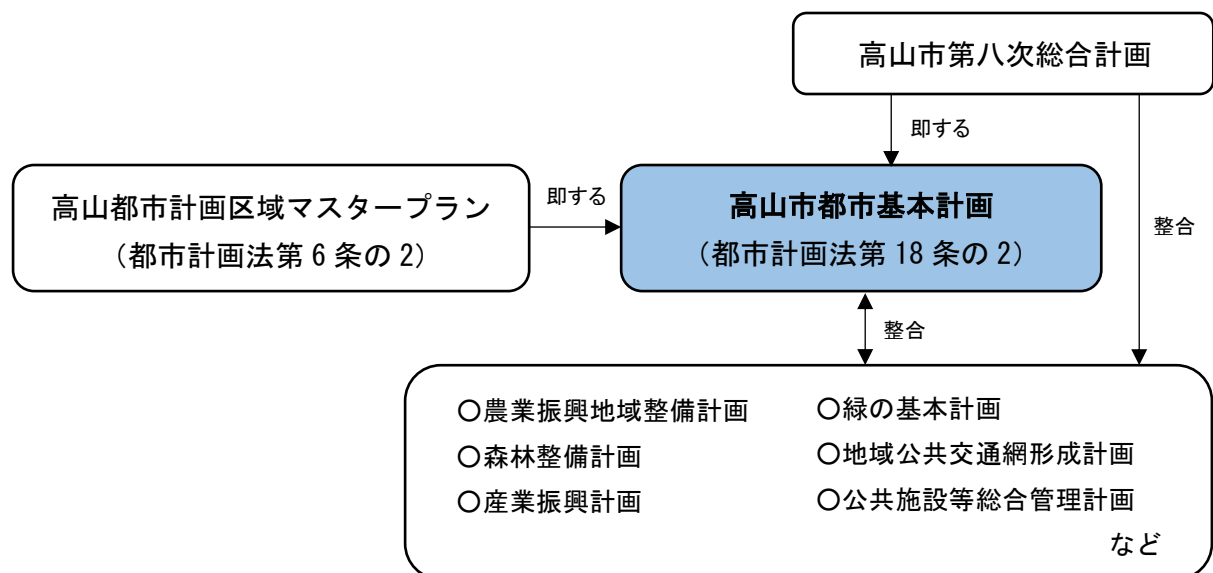


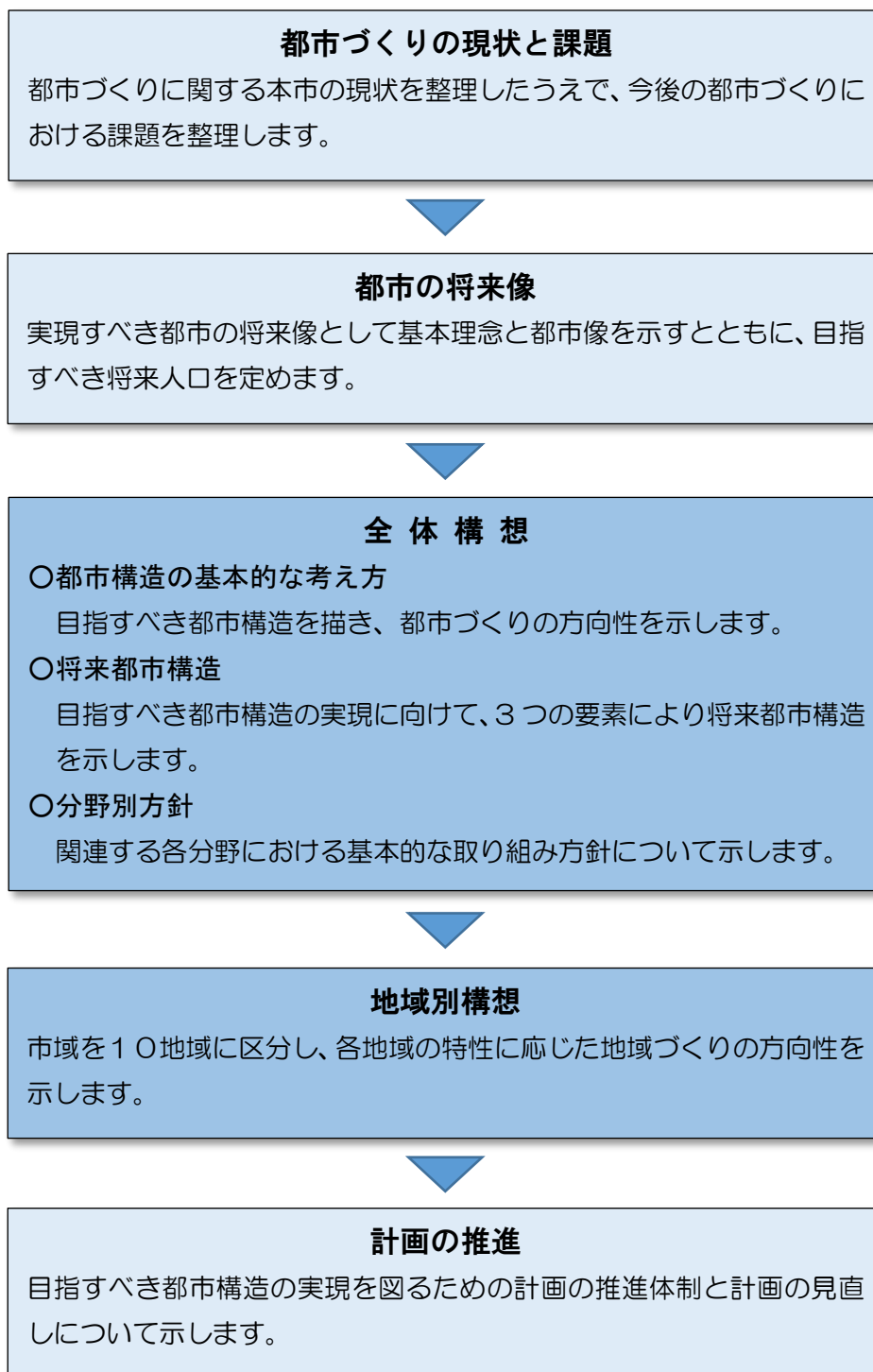
図. 高山市都市基本計画の位置付け

## 4. 対象区域

本計画は、高山市全域を対象とします。

## 5. 計画の構成

本計画の構成は、以下のとおりです。



## 6. 目標の時期

本計画は、おおむね30年後の都市構造を展望して定めます。

## 第2章 都市づくりの現状と課題

### 1. 都市づくりの現状

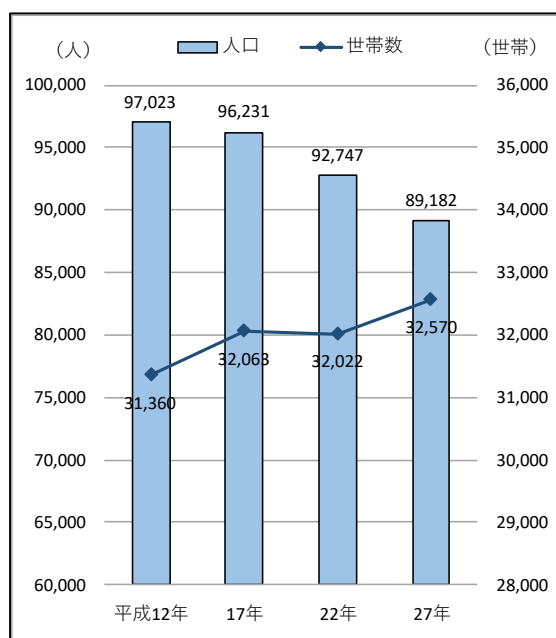
#### (1) 人口の動向

##### 1) 人口・世帯数の推移

- ・国勢調査の結果による人口推移をみると、平成12(2000)年の97,023人をピークに減少が続き、平成27(2015)年の人口は89,182人となっています。
- ・世帯数は、平成27(2015)年で32,570世帯となっており、年々増加傾向を示しています。一方で、1世帯当たり平均世帯人員は2.67人と減少傾向にあり、単独世帯の増加や核家族化の進行がうかがえます。

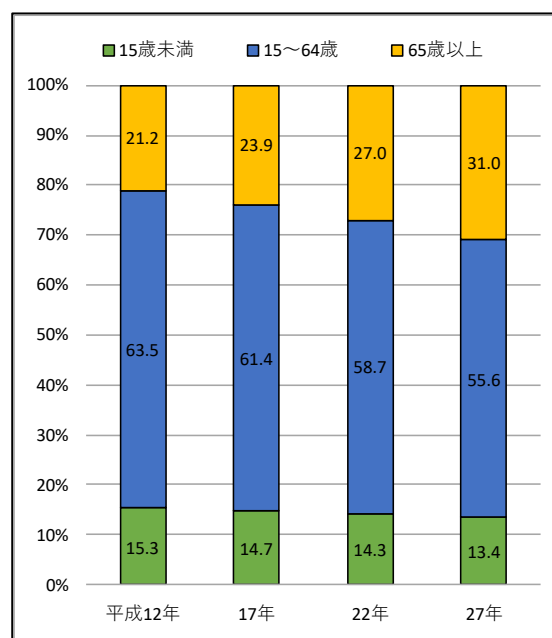
##### 2) 年齢階層別人口の推移

- ・平成27(2015)年の年齢階層別人口は、年少人口(15歳未満)が11,972人(構成比13.4%)、生産年齢人口(15歳～64歳)が49,548人(構成比55.6%)、高齢者人口(65歳以上)が27,550人(構成比31.0%)となっています。
- ・人口推移をみると、年少人口が減少し、高齢者人口が増加する傾向にあり、少子高齢化の進行が顕著となっています。高齢化率は31.0%で、全国平均の26.7%と比較して高い状況にあります。



資料: 国勢調査

図. 人口と世帯数の推移



資料: 国勢調査

図. 年齢階層別人口割合の推移

### 3) 地域別人口の推移

- ・本市の地域別人口は、10 地域のうちで高山地域が最も多く、市全体の約 70%を占めており、以降、国府地域、丹生川地域、久々野地域の順に多くなっています。
- ・地域別人口の推移については、一部の地域においては増加していましたが、平成 27（2015）年にはすべての地域で減少となっています。また、高山地域から遠い地域では減少率が高くなっており、特に高根地域では大きく減少しています。
- ・高山地域では、市街地中心部では人口が減少する一方で、市街地郊外部においては増加する傾向がみられます。
- ・平成 27（2015）年における地域別の高齢化率は、高山地域と丹生川地域以外は、市の平均値 30.9%よりも高くなっており、特に高根地域では 55.3%と人口の半数以上が高齢者となっています。

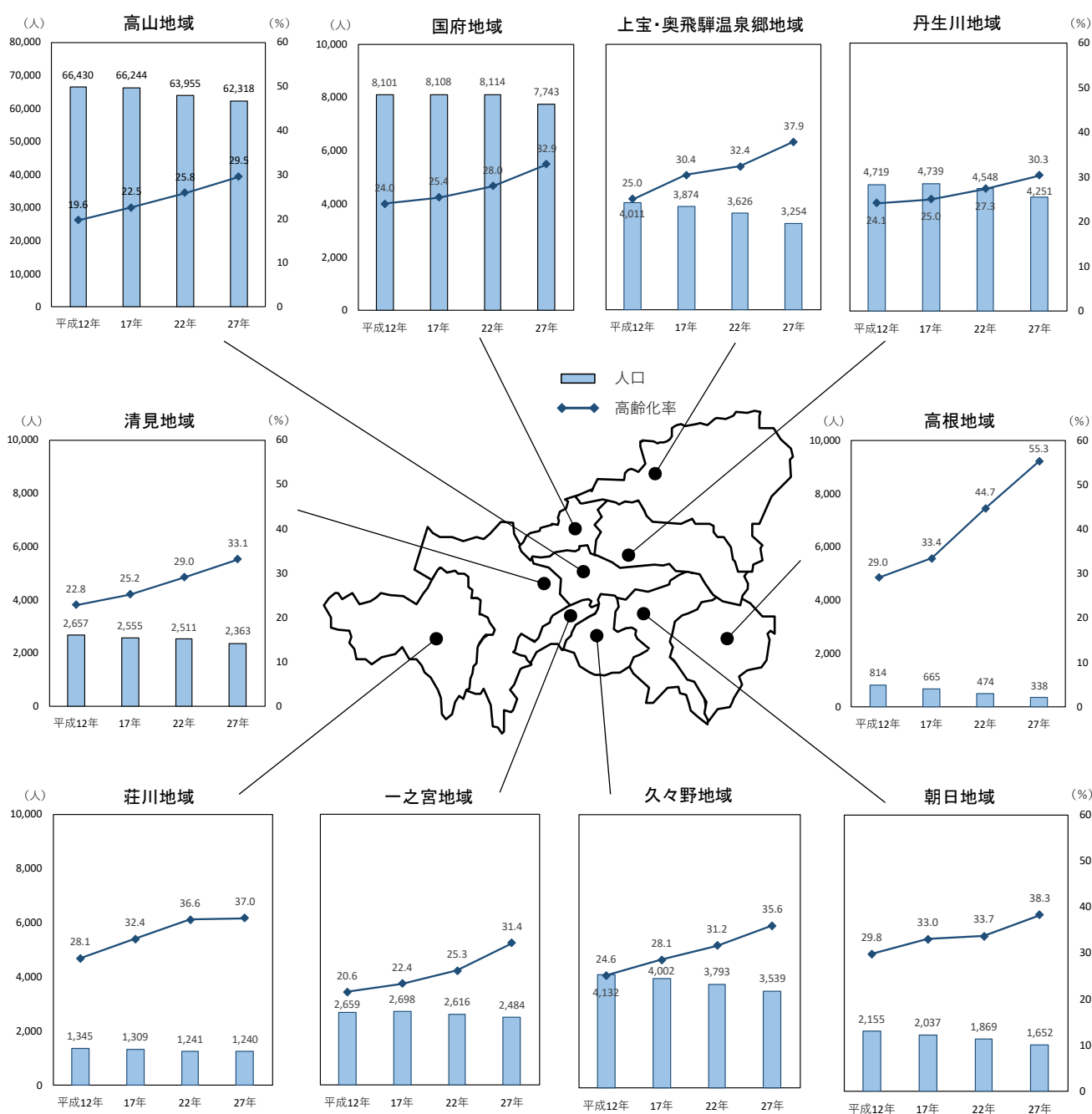
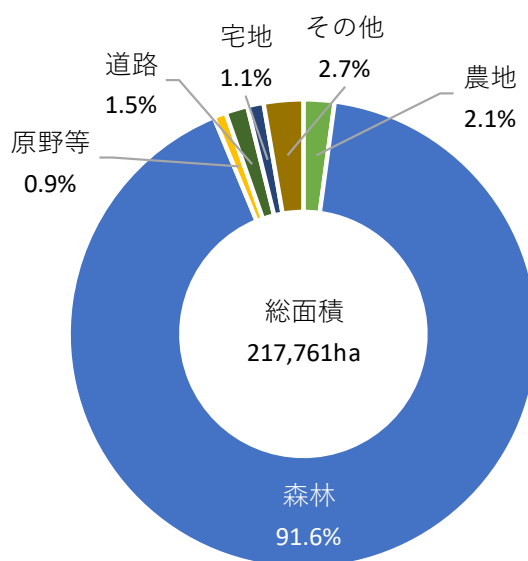


図. 地域別人口、高齢化率の推移

## （２）土地利用の現況

### １）市域全体の土地利用

- ・平成 29（2017）年の地目別土地面積は、総面積（217,761ha）のうち森林が 91.6%、農地が 2.1%、宅地が 1.1%となっており、市域の大部分を森林が占めています。
- ・地目別土地面積の推移をみると、農地は減少傾向にあり、宅地は微増しています。
- ・高山地域では JR 高山駅を中心とし広範囲に市街地が形成されています。その他の地域では支所庁舎周辺などに住宅地が形成されているほか、谷筋や平地に農山村集落が点在しています。



図．地目別土地面積（平成 29 年）

単位:ha

|     | 平成25年   | 26      | 27      | 28      | 29      | 平成25年→<br>29年増減 |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|-----------------|
| 農地  | 4,730   | 4,720   | 4,690   | 4,680   | 4,650   | △ 80            |
| 森林  | 199,615 | 199,696 | 199,752 | 199,733 | 199,530 | △ 85            |
| 原野等 | 1,904   | 1,904   | 1,904   | 1,883   | 1,883   | △ 21            |
| 道路  | 3,295   | 3,316   | 3,336   | 3,336   | 3,332   | 37              |
| 宅地  | 2,421   | 2,418   | 2,431   | 2,433   | 2,439   | 18              |
| その他 | 5,802   | 5,707   | 5,648   | 5,696   | 5,927   | 125             |
| 総面積 | 217,767 | 217,761 | 217,761 | 217,761 | 217,761 |                 |

資料: 高山市企画課

表．地目別土地面積の推移



## 2) 都市計画区域の土地利用

- ・都市計画区域は、高山地域全域と丹生川地域、清見地域、国府地域のそれぞれ一部を指定しており、面積は19,402haです。
- ・高山地域の中心部の約1,568haに用途地域を定めており、都市計画区域における用途地域の割合は8.1%です。構成は、住居系66.8%、工業系26.4%、商業系6.8%となっています。
- ・市街地中心部では、商業系と住居系の土地利用の混在がみられ、市街地周縁では、住居系・商業系・工業系の土地利用の混在がみられます。
- ・市街地中心部には高度地区を定めており、地区の特性に応じた建築物の高さの最高限度を定めることにより、美しい眺望景観の保全や良好な住環境の維持を図っています。
- ・市街地を取り囲む樹林地に、城山風致地区、松倉風致地区、北山風致地区、東山風致地区を定め、都市の風致の維持を図っています。
- ・伝統的な町家建築が連なる旧城下町の2箇所に伝統的建造物群保存地区を定めており、それぞれ国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。
- ・市街地西部の中山丘陵地には地区計画を定めており、緑あふれる良好な住環境の形成を図っています。
- ・市街地中心部では、空き家が増加し商業施設が減少するなど空洞化がみられます。
- ・JR高山駅周辺を中心に、大規模なホテル開発が多数すすめられています。

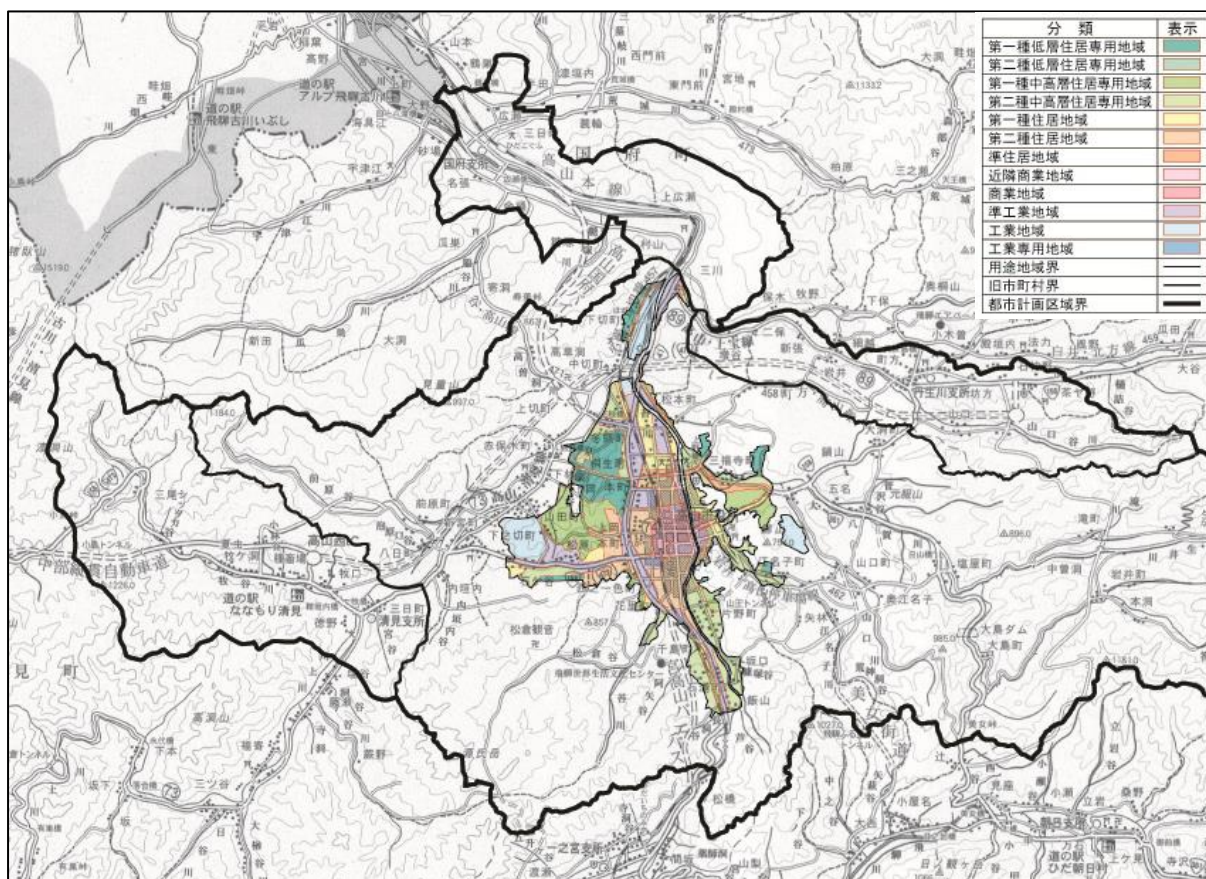


図. 用途地域の決定状況

単位:ha

| 地 域 地 区         |                       | 面積       | 計画決定年月日  | 備考         |
|-----------------|-----------------------|----------|----------|------------|
| 用途地域            | 第1種低層住居専用地域           | 約177     | S43.4.20 | H15.12.9変更 |
|                 | 第2種低層住居専用地域           | 約5.9     |          |            |
|                 | 第1種中高層住居専用地域          | 約181     |          |            |
|                 | 第2種中高層住居専用地域          | 約269     |          |            |
|                 | 第1種住居地域               | 約176     |          |            |
|                 | 第2種住居地域               | 約206     |          |            |
|                 | 準住居地域                 | 約32      |          |            |
|                 | 近隣商業地域                | 約46      |          |            |
|                 | 商業地域                  | 約61      |          |            |
|                 | 準工業地域                 | 約272     |          |            |
|                 | 工業地域                  | 約142     |          |            |
|                 | 計                     | 約1,568.9 |          |            |
| 特別用途地区          | 特別業務地区                | 約19      | S51.4.1  | H8.4.1変更   |
|                 | 観光地区                  | 約16      | H5.4.1   |            |
|                 | 大規模集客施設制限地区           | 約272     | H22.3.29 |            |
|                 | 計                     | 約307     |          |            |
| 高度地区            | 城下町地区                 | 約87      | H19.7.31 |            |
|                 | 安川通り地区                | 約2       |          |            |
|                 | 陣屋後背地地区               | 約2.6     |          |            |
|                 | 駅東地区                  | 約90      |          |            |
|                 | 駅西地区                  | 約43      |          |            |
|                 | 駅周辺地区                 | 約33      |          |            |
|                 | 計                     | 約258.6   |          |            |
| 防火地域            |                       | 約9.8     | S43.5.15 | S54.7.24変更 |
| 準防火地域           |                       | 約127     | S43.5.15 | H8.4.1変更   |
| 風致地区            | 城山風致地区                | 約47      | S31.4.5  | S45.6.13変更 |
|                 | 松倉風致地区                | 約115     | S46.3.30 | H5.4.1変更   |
|                 | 北山風致地区                | 約29      | H5.4.1   |            |
|                 | 東山風致地区                | 約38      | H8.4.1   |            |
|                 | 計                     | 約229     |          |            |
| 駐車場整備地区         |                       | 約129.1   | S47.4.1  | S56.7.14変更 |
| 伝統的建造物群<br>保存地区 | 高山市三町伝統的建造物群保存地区      | 約4.4     | S53.10.3 | H8.12.19変更 |
|                 | 高山市下二之町大新町伝統的建造物群保存地区 | 約6.6     | H16.2.16 |            |
|                 | 計                     | 約11.0    |          |            |

資料:高山市都市計画課

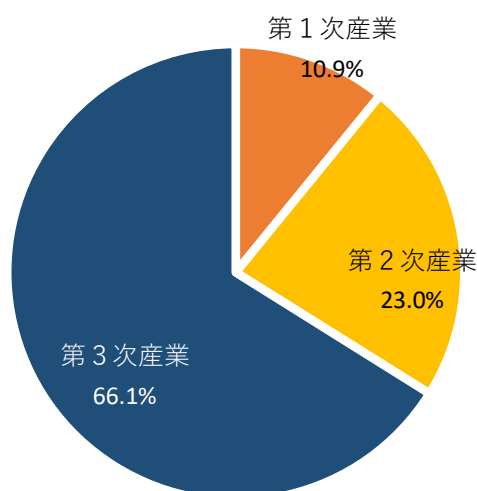
表. 都市計画決定による地域地区一覧



### (3) 産業構造

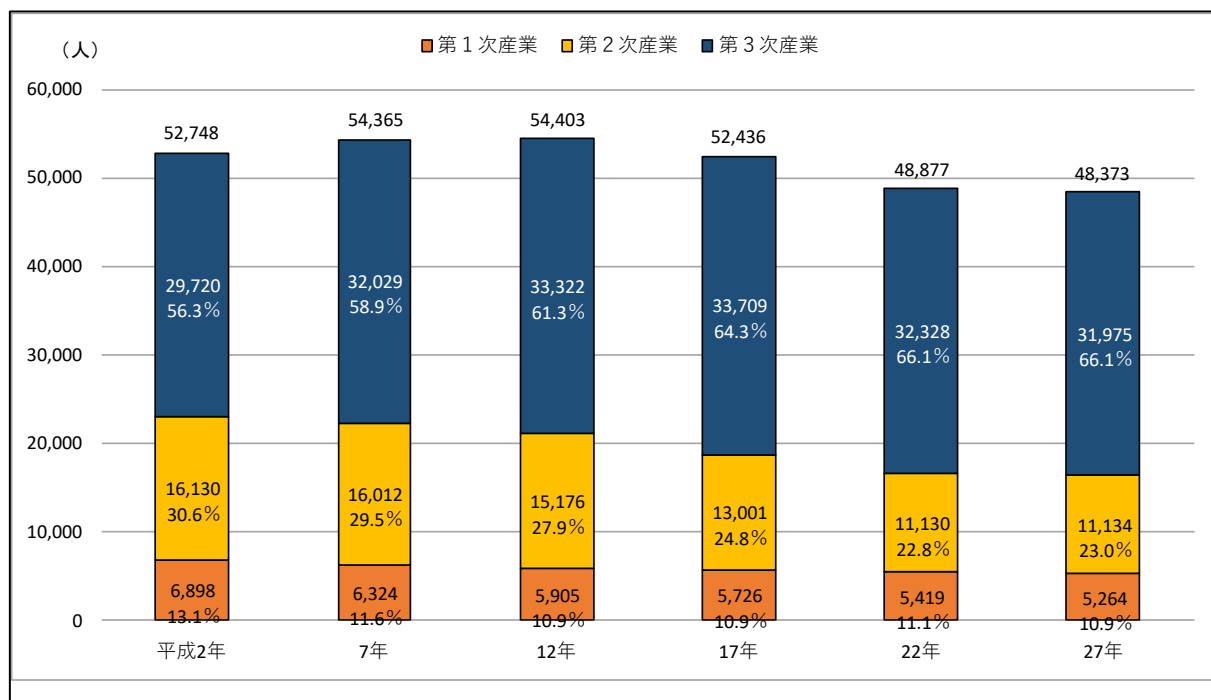
#### 1) 産業別就業者数

- ・平成 27（2015）年の産業別就業者数の割合は、第 3 次産業が 66.1%と最も多く、次いで第 2 次産業の 23.0%となっており、第 1 次産業が 10.9%となっています。この傾向は過去から大きくは変わらず、本市の産業構造は商業やサービス業などが中心となっています。
- ・産業別就業者数の推移は、平成 2（1990）年から平成 27（2015）年にかけて、第 1 次産業が 23.7%、第 2 次産業が 31.0%減少しています。



資料:国勢調査

図. 産業別就業者数の割合（平成 27 年）



資料:国勢調査

図. 産業別就業者数の推移

## 2) 農業

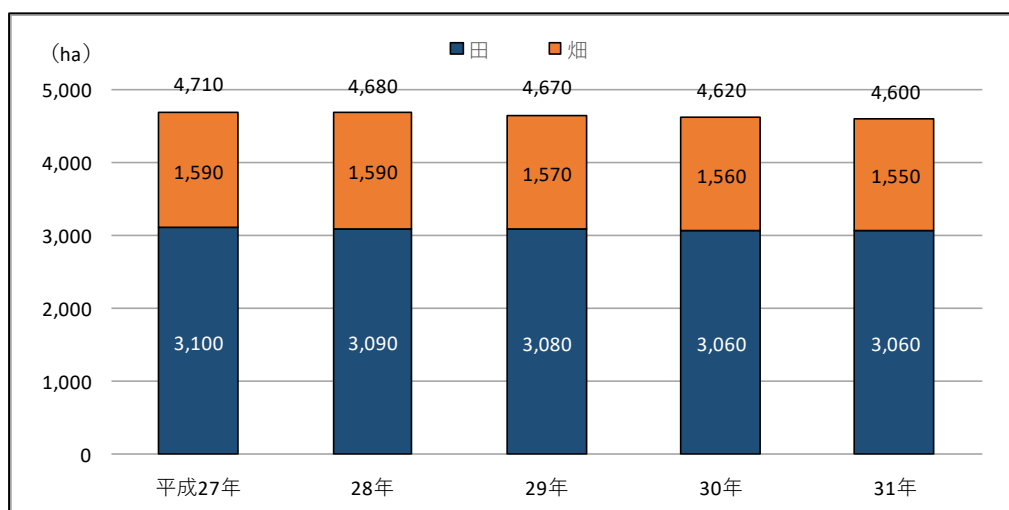
- ・農業販売額は平成 28（2016）年まで増加傾向にありましたが、平成 29（2017）年からは減少傾向に転じています。作目別では、トマト・ホウレンソウなどを代表とした野菜の販売額が多くなっています。
- ・耕地面積は、田・畑とも微減傾向にあります。
- ・農家戸数は減少を続けており、兼業農家は平成 7（1995）年以降、約 5 割の減少となっています。一方、専業農家は 3 割以上増加しており、全体における割合が 7.2%から 13.0%まで増加しています。

単位: 百万円

|    |    | 平成27年  | 28     | 29     | 30     | 31     |
|----|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 耕種 | 米  | 1,323  | 1,505  | 1,625  | 1,607  | 1,605  |
|    | 野菜 | 9,656  | 11,179 | 10,329 | 10,303 | 9,748  |
|    | 果樹 | 687    | 767    | 758    | 672    | 787    |
|    | 花き | 107    | 123    | 86     | 72     | 53     |
| 合計 |    | 11,773 | 13,574 | 12,798 | 12,654 | 12,193 |

資料: 高山市農務課

表. 農業販売額の推移



資料: 耕地面積調査

図. 耕地種類別面積の推移

単位: 戸

|      | 農家戸数  | 専業兼業別農家戸数 |      |       |       |
|------|-------|-----------|------|-------|-------|
|      |       | 専業        | 一種兼業 | 二種兼業  | 自給農家  |
| 平成7年 | 5,453 | 394       | 788  | 2,929 | 1,342 |
| 12   | 5,111 | 420       | 656  | 2,616 | 1,419 |
| 17   | 4,730 | 410       | 574  | 2,123 | 1,623 |
| 22   | 4,486 | 575       | 411  | 1,791 | 1,709 |
| 27   | 4,112 | 533       | 388  | 1,521 | 1,670 |

資料: 農林業センサス

表. 農家戸数の推移

### 3) 畜産業

- ・家畜飼育戸数は約 200 戸で、肉用牛、乳用牛、豚の飼育戸数は減少傾向にあります。
- ・畜産販売額は、近年はほぼ横ばいとなっています。

各年度2月1日現在 単位: 戸, 頭, 羽

|     | 平成27年度 |        | 28   |        | 29   |        | 30   |        | 31   |        |
|-----|--------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|
|     | 飼育戸数   | 飼育頭数   | 飼育戸数 | 飼育頭数   | 飼育戸数 | 飼育頭数   | 飼育戸数 | 飼育頭数   | 飼育戸数 | 飼育頭数   |
| 肉用牛 | 184    | 10,991 | 181  | 10,872 | 176  | 10,675 | 175  | 10,982 | 171  | 11,030 |
| 乳用牛 | 20     | 1,192  | 18   | 1,174  | 15   | 1,128  | 13   | 1,023  | 13   | 1,050  |
| 豚   | 4      | 22,985 | 4    | 36,252 | 3    | 23,412 | 3    | 21,758 | 2    | 28,694 |
| 採卵鶏 | 12     | 55,841 | 12   | 56,929 | 11   | 55,556 | 13   | 52,215 | 15   | 50,912 |
| 計   | 220    | -      | 215  | -      | 205  | -      | 204  | -      | 201  | -      |

資料: 高山市畜産課

表. 家畜飼育状況の推移

単位: 百万円

| 平成27年 | 28     | 29     | 30     | 31     |
|-------|--------|--------|--------|--------|
| 9,704 | 10,399 | 10,353 | 10,174 | 10,361 |

資料: 高山市農務課

表. 畜産販売額の推移

### 4) 林業

- ・林家数は約 4,400 戸で、経営規模が 5ha 未満の零細な林家が半数を占めています。
- ・民有林のうち人工林が約 38%あり、そのほとんどが針葉樹林となっています。木材生産量は、近年は増加傾向にあります。

単位: 戸

|       | 総数    | 所 有 規 模 |        |         |       |
|-------|-------|---------|--------|---------|-------|
|       |       | ～5ha    | 5～10ha | 10～20ha | 20ha～ |
| 平成12年 | 4,898 | 2,265   | 1,013  | 879     | 741   |
| 17    | 4,608 | 2,246   | 857    | 799     | 706   |
| 22    | 4,482 | 2,166   | 860    | 760     | 696   |
| 27    | 4,426 | 2,162   | 812    | 781     | 671   |

資料: 農林業センサス

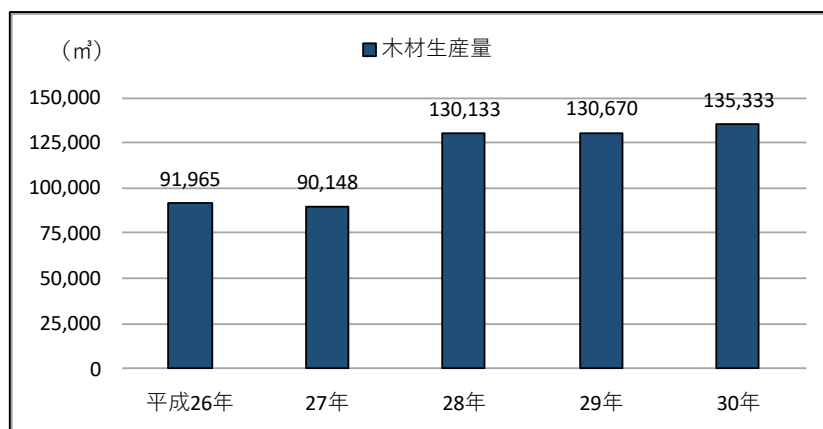
表. 林家数の推移

平成31年3月末現在 単位: ha

| 総面積     | 人工林    |     | 天然林   |        | その他<br>未立木地等 |
|---------|--------|-----|-------|--------|--------------|
|         | 針葉樹    | 広葉樹 | 針葉樹   | 広葉樹    |              |
| 119,688 | 45,301 | 138 | 8,747 | 60,141 | 5,360        |

資料: 森林・林業統計書

表. 森林面積の内訳（民有林）



資料: 高山市林務課

図. 木材生産量の推移

## 5) 工業

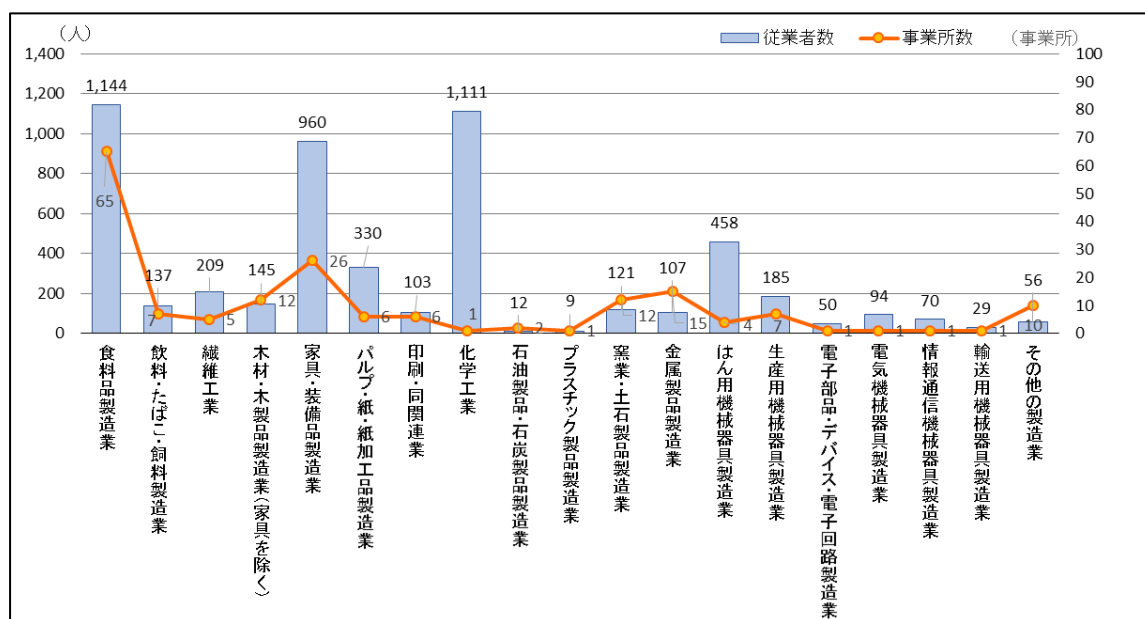
- ・製造業の事業所数、従業者数、出荷額等は減少傾向にあります。
- ・製造業の分野別の従業者数は、食料品製造業が最も多く、次いで化学工業、家具・装備品製造業の順となっています。事業所数は食料品製造業、家具・装備品製造業の順に多くなっています。

単位: 件, 人, 百万円

|       | 事業所数 | 従業者数  | 出荷額等    |
|-------|------|-------|---------|
| 平成27年 | 227  | 5,525 | 153,637 |
| 28    | 183  | 5,330 | 147,091 |
| 29    | 177  | 5,277 | 140,138 |

資料: 工業統計調査、経済センサス-活動調査

表. 製造業の推移



資料: 工業統計調査

図. 製造業の分野別の従業者数・事業所数 (平成 28 年)

## 6) 商業

- ・卸売業の事業所数及び従業者数はほぼ横ばいで、小売業の事業所数及び従業者数は緩やかな増加傾向です。年間商品販売額は卸売業・小売業ともに増加傾向にあります。
- ・中心商店街の営業店舗数、空き店舗数は、おおむね横ばいで推移しています。

単位: 件, 人, 百万円

|       | 事業所数 |       | 従業者数  |       | 商品販売額   |         |
|-------|------|-------|-------|-------|---------|---------|
|       | 卸売業  | 小売業   | 卸売業   | 小売業   | 卸売業     | 小売業     |
| 平成23年 | 287  | 1,081 | 2,098 | 5,341 | 83,884  | 97,483  |
| 25    | 282  | 1,132 | 2,027 | 5,793 | 96,099  | 110,960 |
| 27    | 288  | 1,140 | 2,054 | 5,952 | 105,195 | 121,070 |

資料: 工業統計調査、経済センサス-活動調査

表. 卸売・小売業の推移

単位: 件, %

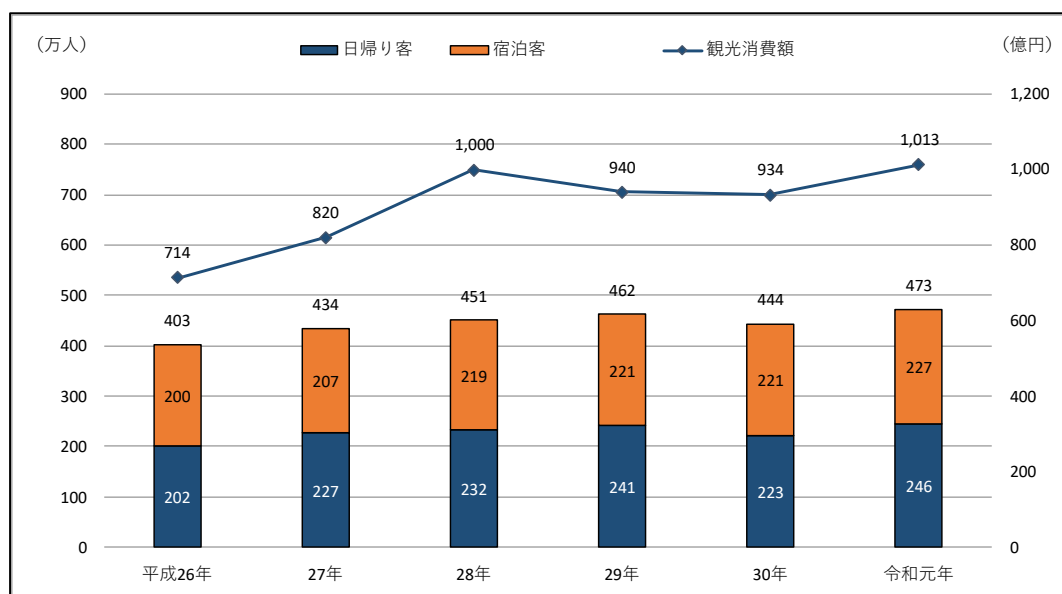
|       | 平成27年度 | 28   | 29   | 30   | 31   |
|-------|--------|------|------|------|------|
| 営業店舗数 | 362    | 366  | 371  | 357  | 357  |
| 空き店舗数 | 51     | 48   | 53   | 68   | 53   |
| 空き店舗率 | 12.3   | 11.6 | 12.5 | 16.0 | 12.9 |

資料: 高山市商工課

表. 中心商店街の営業店舗・空き店舗の推移

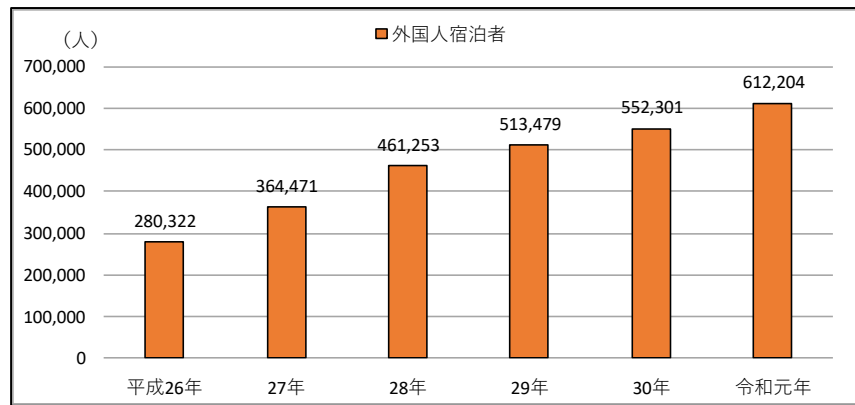
## 7) 観光

- ・観光客入込者数は、令和元（2019）年には過去最高の 473 万人となるなど増加傾向にあります。歴史文化を活用した魅力あるまちづくりなどにより、本市への注目が高まるなかで、外国人観光客数の増加と、官民一体となった誘客活動等の実施が好調の要因と考えられます。
- ・観光消費額は、平成 28（2016）年まで増加傾向となっていました、近年は横ばいとなっています。



資料: 高山市観光課

図. 観光客入込者数・観光消費額の推移



資料: 高山市観光課

図. 外国人宿泊者数の推移

## (4) 道路・交通の現況

### 1) 道路交通

- ・本市の道路交通網は、東海北陸自動車道（IC：2箇所）、中部縦貫自動車道（IC：2箇所）、国道7路線（中部縦貫自動車道を除く）、県道27路線と、これらの道路と住宅地等とを結ぶ多数の市道によって構成され、市民生活や社会経済活動を支えています。
- ・国道のうち、市域を縦断し名古屋市・富山市へ連絡する国道41号、市域を横断し福井市・松本市へ連絡する国道158号は、特に主要な幹線道路となっています。
- ・中部縦貫自動車道の高山ICから（仮称）丹生川IC間の整備、国道41号石浦バイパスの整備、都市計画道路松之木千島線の整備がすすめられています。
- ・中部縦貫自動車道高山ICなどの整備により、以前より幹線道路の渋滞は緩和されていますが、観光客の増加に伴い、休日等には市街地において渋滞が発生しています。

### 2) 公共交通等

- ・JR高山本線が市域を縦断しており、高山駅をはじめとして6箇所の鉄道駅があります。
- ・バス交通は、幹線バス・自主運行バス（のらマイカー、まちなみバス、匠バス）のほか、本市と都市部を結ぶ高速バスなどの運行により、公共交通サービスが提供されています。
- ・高根地域では、地域団体が公共交通空白地有償運送（たかね号）を運行しています。
- ・鉄道の各駅での乗車人数や幹線バス・自主運行バスの利用者数は、一部の路線を除き減少傾向にありますが、高速バス利用者は年々増加しています。

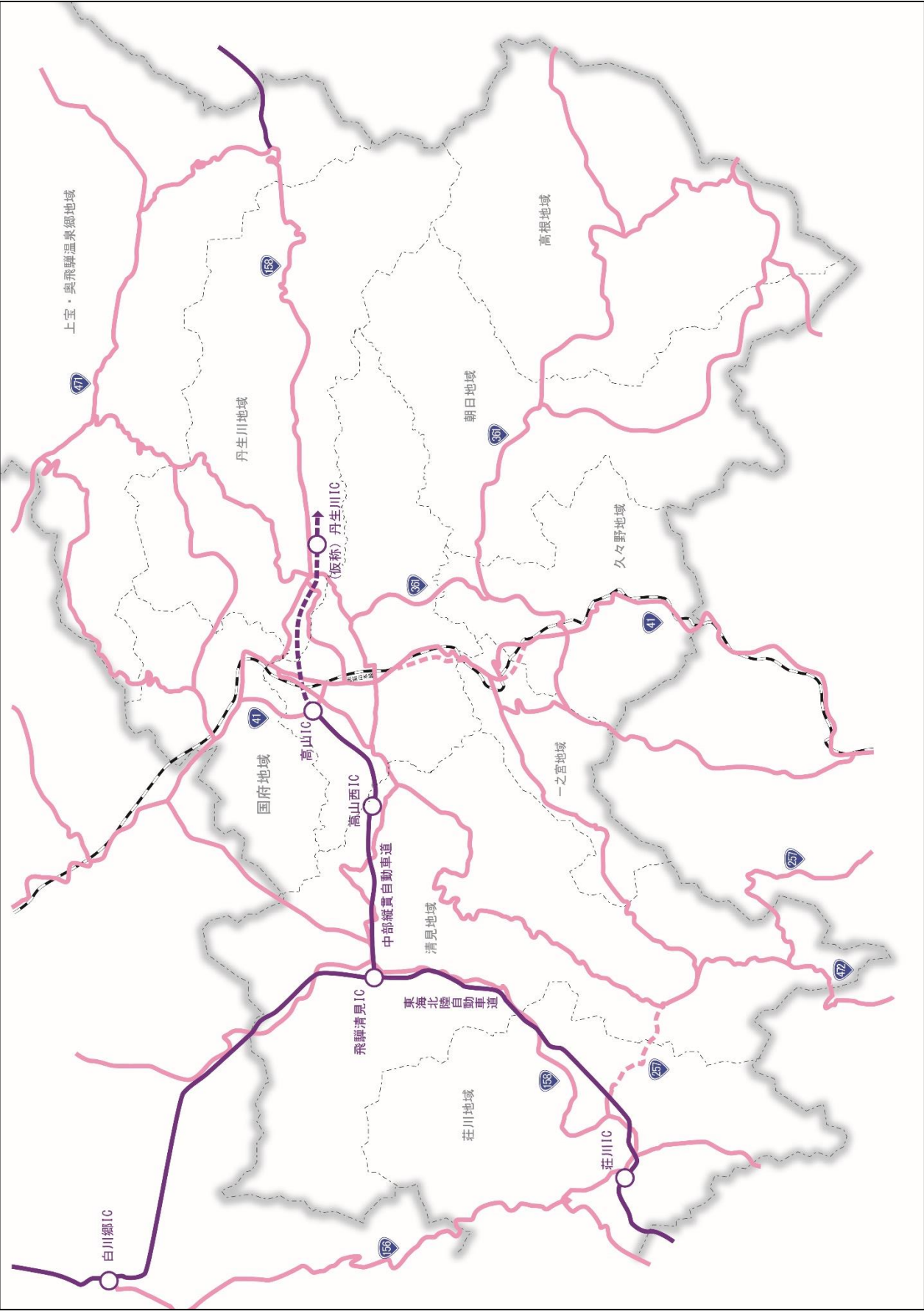


図. 広域幹線道路網図

## (5) 都市施設の整備状況

### 1) 都市計画道路

- ・平成 31 (2019) 年 3 月末現在、都市計画道路は 23 路線 (延長 84.24km) を都市計画決定しています。
- ・平成 31 (2019) 年 3 月末現在の整備済み延長は 30.56 km (整備率 36.3%) となっています。用途地域内では、計画延長 44.85km のうち整備済み延長は 22.86 km (整備率 51.0%) となっています。
- ・都市計画決定から数十年が経過しているものの、整備の完了していない路線も複数存在しています。

単位:m

| 路線番号   | 路線名            | 延長     | 標準幅員 | 計画決定年月日<br>(最終変更) |
|--------|----------------|--------|------|-------------------|
| 1.3.1  | 中部縦貫自動車道       | 15,990 | 22   | H4.1.17           |
| 1.6.2  | 国道41号高山国府バイパス線 | 4,910  | 8.5  | H9.4.15           |
| 3.4.1  | 花里本母線          | 2,240  | 16   | H25.1.15          |
| 3.5.2  | 石浦下切線          | 5,720  | 15   | H20.10.24         |
| 3.4.3  | 片野上一之町線        | 2,450  | 16   | 〃                 |
| 3.5.4  | 国分寺松之本線        | 2,540  | 12   | H16.7.23          |
| 3.5.5  | 広小路線           | 1,110  | 15   | H25.1.15          |
| 3.4.6  | 花里牧ヶ洞線         | 8,460  | 16   | H16.7.23          |
| 3.5.7  | 国道41号線         | 9,840  | 12   | 〃                 |
| 3.5.8  | 岡本線            | 1,150  | 12   | 〃                 |
| 3.5.9  | 松之木下林線         | 4,800  | 12   | 〃                 |
| 3.5.11 | 松之木千島線         | 3,530  | 12   | 〃                 |
| 3.5.12 | 昭和中山線          | 2,480  | 12   | 〃                 |
| 3.5.13 | 松本冬頭線          | 860    | 12   | H9.4.15           |
| 3.4.14 | 西之一色花岡線        | 1,770  | 16   | H16.7.23          |
| 3.5.17 | 冬頭下切線          | 2,680  | 12   | H4.1.17           |
| 3.5.18 | 中山冬頭線          | 1,220  | 12   | 〃                 |
| 3.3.19 | 国道41号高山国府バイパス線 | 1,080  | 27   | H9.4.15           |
| 3.4.20 | 松之木坊方線         | 6,250  | 16   | H4.1.17           |
| 3.4.21 | 国道41号宮高山バイパス線  | 3,820  | 20.5 | H12.4.14          |
| 3.5.23 | 高山駅東口線         | 430    | 15   | H25.1.15          |
| 7.6.1  | 上一之町花里線        | 790    | 8    | H8.4.1            |
| 8.7.1  | 高山駅東西線         | 120    | 6    | H24.8.21          |
| 計      |                | 84,240 |      |                   |

資料: 高山市都市計画課

表. 都市計画道路一覧

### 2) 公園・緑地

- ・平成 31 (2019) 年 3 月末現在、都市公園は 36 箇所、約 63ha が供用済みとなっており、そのうち 12 箇所、約 47ha を都市計画決定しています。
- ・都市計画区域人口に対する一人当たりの都市公園面積は、平成 31 (2019) 年 3 月末現在、9.1 m<sup>2</sup>/人で、都市公園法による都市公園設置基準の 10 m<sup>2</sup>/人を下回っており、街区公園など身近な公園が少ない状況となっています。



### 3) 下水道

- ・公共下水道として高山市公共下水道（宮川処理区）を都市計画決定しており、高山地域を処理地域としています。また、それ以外の地域については、特定環境保全公共下水道のほか、農業集落排水処理施設、小規模集合排水処理施設などにより汚水を処理しています。
- ・都市計画区域における公共下水道（特定環境保全公共下水道を含む）の整備率は令和2（2020）年3月末現在で99.6%となっています。

### 4) その他の都市施設

- ・市営駐車場は市街地に10箇所あり、そのうち弥生橋駐車場、花岡駐車場、神明駐車場を自動車駐車場として都市計画決定しています。特に神明駐車場は観光スポットに近く、大型バスの駐車もできることから、観光客の需要が高くなっています。
- ・汚物処理場として、冬頭汚物処理場（環境センター）を都市計画決定しており、し尿の処理を行っています。
- ・ごみ焼却場として、高山市清掃工場（資源リサイクルセンター）を都市計画決定していますが、施設の老朽化が進んでいます。
- ・市場として、高山流通センター（公設卸売市場）を都市計画決定していますが、施設の老朽化が進んでいます。
- ・と畜場として、飛騨食肉センターを都市計画決定しており、飛騨牛の一層の銘柄化を推進する拠点施設となっています。
- ・火葬場は、高山市営火葬場と高山市営久々野火葬場、高山市営荘川火葬場の3箇所がありますが、高山市営火葬場の老朽化が進んでいます。

### （6）自然・景観資源

- ・東は槍ヶ岳・乗鞍岳などが連なる飛騨山脈、西は白山連峰、南は御嶽山と、山々に囲まれ、四季の変化に富んだ豊かな自然資源や山岳景観を有しているほか、奥飛騨温泉郷をはじめとした温泉資源にも恵まれています。
- ・源流域を有する数多くの河川や高山帯から低山帯に至る多様な自然環境は、絶滅が危惧されている希少動植物を含む多種多様な生き物を育んでいます。
- ・市街地中心部の東部は近世城下町であり、二つの重要伝統的建造物群保存地区や春と秋の高山祭をはじめ、多くの歴史的・文化的資産が存在しています。
- ・市街地中心部には宮川が流れ、市街地を取り囲むように里山の緑が存在しており、これらが歴史的な町並みと一体となって個性ある都市景観を形成しています。
- ・農山村地域では、大規模な農家住宅や美しい田園など日本の原風景を見ることができます。
- ・景観計画等に基づき、良好な景観形成の推進や特色ある景観の保全を図っています。
- ・歴史資源、自然資源、良好な景観などを官民一体となって保全するとともに、それらを活かしたまちづくりを推進しています。

## (7) 災害の状況

- ・令和2(2020)年7月豪雨災害では、市内各所で道路が寸断され、建物が損壊するなど大きな被害が発生したほか、平成16(2004)年の台風23号豪雨災害や、平成30(2018)年7月豪雨災害など、甚大な被害をもたらす風水害が近年多く発生しています。
- ・市内には、高山・大原断層帯をはじめとする複数の活断層が確認されており、活断層に起因する大規模地震の発生が懸念されています。
- ・本市には5つの活火山(御嶽山、焼岳、乗鞍岳、白山、アカンドナ山)があり、平成26(2014)年9月に発生した御嶽山噴火では、多くの犠牲者が発生する戦後最悪の火山災害となりました。

## 2. 都市づくりの課題

都市の現状を踏まえ、本市の抱える都市づくりにおける課題を以下に整理します。

### (1) 集約型都市構造への転換

- ・人口減少や少子高齢化が進行するなか、生活サービスや地域コミュニティを持続的に確保するためには、市の中心部や支所地域の核となるエリアに都市機能などがまとまって立地する集約型の都市づくりが求められています。
- ・高齢者をはじめとする住民が自家用車に過度に頼ることなく、徒歩や公共交通等により、医療や買い物などの生活サービス関連施設等にアクセスできるよう、都市のバリアフリー化や公共交通の利便性向上が必要です。
- ・中心市街地に点在する空き家・空き店舗等の有効活用により、まちなか居住を促進し、地域コミュニティの維持と商店街の活性化をすすめる必要があります。

### (2) 計画的な土地利用の推進

- ・良好な景観や豊かな自然環境の保全・活用、農業生産基盤の整備、企業の集積や立地の促進などにより、地域特性を活かす土地利用をすすめる必要があります。
- ・JR 高山駅を中心とした地域における公共施設の整備や商業・業務施設等の立地の促進などにより、駅の東西が一体となった賑わいと活力にあふれる市街地を形成する必要があります。
- ・郊外部の農地や山林等における無秩序な開発や安易な開発を抑制し、優良農地や豊かな自然環境を保全する必要があります。

### (3) 都市基盤の整備推進

- ・アクセス性の向上や市街地での交通混雑の解消などのため、中部縦貫自動車道や環状道路の整備など、利便性の高い道路網の構築が求められています。
- ・公共交通の利便性向上と交通体系の再編により、市民や観光客等のニーズに対応した、持続可能な地域公共交通システムの構築が求められています。
- ・都市計画道路の効率的な整備をすすめるとともに、社会経済情勢の変化や目指すべき都市構造を踏まえた適時適切な見直しを行う必要があります。
- ・市街地中心部では、一部の地区に集中する観光目的で訪れる車両の流入抑制や外縁部の駐車場の利用促進が必要となっています。
- ・老朽化が進んでいる高山市清掃工場（資源リサイクルセンター）、高山流通センター（公設卸売市場）、高山市営火葬場について、新施設の整備が必要となっています。
- ・下水道の整備区域の家屋等における下水道切り替えの促進、上・下水道施設の耐震化、老朽化対策が必要となっています。
- ・情報通信技術の急速な発展により、交通や農業など様々な分野での活用の検討など、情報ネットワークの更なる活用が必要となっています。

#### **(4) 都市の安全・安心の確保**

- ・自然災害に強く、安全で安心して生活することができる都市構造の構築が必要となっています。
- ・空き家等の有効活用をすすめるとともに、管理されない空き家等については、適切な維持管理や除却を促進する必要があります。
- ・雨水の貯留・浸透や土砂崩壊防止等に効果のある森林、農地の保全などにより、災害の防止、被害の軽減を図る必要があります。

#### **(5) 自然環境との共存、環境負荷の軽減**

- ・住環境と自然環境が調和した計画的な土地利用を推進する必要があります。
- ・地域の生態系の保全・回復、持続可能な利用をすすめる必要があります。
- ・国際的枠組みに基づく温室効果ガスの排出削減に向けて、環境にやさしい低炭素社会の構築や自然エネルギーの活用をすすめる必要があります。
- ・自然との共生や水辺空間の活用を図る河川環境整備、保水・遊水機能の保持が必要となっています。

#### **(6) 地域の個性や魅力づくり**

- ・先人たちから引き継がれた地域固有の歴史的・文化的な資源の保全・活用を図り、次代へ確実に継承していく必要があります。
- ・山岳や温泉、高地など、自然特性を活かした地域の魅力づくりをすすめる必要があります。
- ・景観計画等に基づき、良好な景観形成の促進や特色ある景観の保全・活用を継続的にすすめるとともに、より効果的で実効性のある規制・基準等を設ける必要があります。
- ・無電柱化整備などにより、美しい景観の創出や安全で快適な歩行空間の確保を図る必要があります。
- ・市民が自ら誇りと感じ、来訪者が繰り返し訪問したくなるような魅力ある都市づくりをすすめる必要があります。

## 第3章 都市の将来像

### 1. 基本理念と都市像

#### (1) 基本理念

高山市第八次総合計画において、本市の今後のまちづくりについての考え方として定める基本理念を踏襲し、本計画における基本理念として定めます。

市民が主役という考えのもと、多様な主体が「協働」してまちづくりに取り組むとともに、先人たちが築き上げてきたまちの財産を継承しながら、新たなまちの魅力や個性を「創造」し、将来につなげていくことで、市民が夢と希望を持ち、心豊かに暮らしていくことのできる「自立」したまちを目指す

#### (2) 都市像

高山市第八次総合計画において、本市の将来のあるべき姿として掲げる都市像を踏襲し、本計画における都市像として掲げます。

**人・自然・文化がおりなす 活力とやさしさのあるまち 飛驒高山**

この都市像は、本市が誇る魅力、財産である「人」・「自然」・「文化」が様々な形で組み合わせ、活かしあうことにより、新たな活力や元気が生まれるとともに、やさしさがあり、幸せが感じられるまちになることを将来の姿として描くものです。

### 2. 将来人口の設定

本市の人口は、平成12(2000)年の97,023人をピークに減少を続けており、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると令和27(2045)年には約63,000人になるとされ、高齢化率は42.1%になると見込まれています。

高山市人口ビジョンでは、このような人口動向を考慮し、合計特殊出生率及び社会増減(転入率と転出率の差)を段階的に上昇・改善させることを目標として、目指すべき人口の将来展望を令和27(2045)年で71,000人と設定していることから、本計画においても同じ数値を将来人口として設定します。

## 第4章 全体構想

### 1. 都市構造の基本的な考え方

#### (1) 目指すべき都市構造

本市は平成17(2005)年の市町村合併により10市町村が一つの市となり、非常に広範囲な市域に居住区域が点在するとともに、数多くの公共施設や道路などのインフラ施設を有しています。今後の人口減少により居住が低密度化すれば、一定の人口密度に支えられてきた医療・福祉・子育て支援・商業等の生活サービスの提供が、困難になりかねない状況にあるほか、コミュニティ機能の低下や地域産業の衰退などが危惧されます。また、インフラ施設は多くが更新の時期を迎えており、今後厳しい財政状況が見込まれるなか、健全な市の財政運営を維持していく上で大きな課題となっています。

このようななかで、持続可能な都市づくりをすすめるためには、都市全体の構造を見直し、次に示すような複数の拠点形成によるコンパクトなまちづくりと、これと連携した公共交通等のネットワークを形成することが重要です。

○医療・福祉施設や商業施設、住居等が、市の中心部や支所地域の核となるエリアにまとまって立地し、日常生活に必要なサービスや行政サービスが身近に存在するまち

○高齢者をはじめとする住民が自家用車に過度に頼ることなく、徒歩や公共交通等により、医療・福祉施設や商業施設等に容易にアクセスできるまち

以上のことを踏まえ、今後の都市づくりにおいては、

#### 『コンパクトな拠点をネットワークで結ぶ都市構造』

の構築を目指します。

#### (2) 取り組みの方向性

コンパクトな拠点をネットワークで結ぶ都市構造の構築を目指すため、次のような方向性で都市づくりに取り組みます。

○生活サービス関連施設等の集積などにより、市の中心部や支所地域の核となるエリアにおいて、生活サービスが身近に利用できる環境の構築を図ります。

○効率的で効果的な地域公共交通システムや利便性の高い道路網の構築、情報ネットワークの更なる活用などにより、市の中心部や支所地域の核となるエリアへのアクセスの向上や暮らしやすさの向上を図ります。

○計画的な土地利用の推進により、市の中心部や支所地域の核となるエリア、公共交通沿線等において良好な住環境の形成を図り、一定の人口密度を維持します。



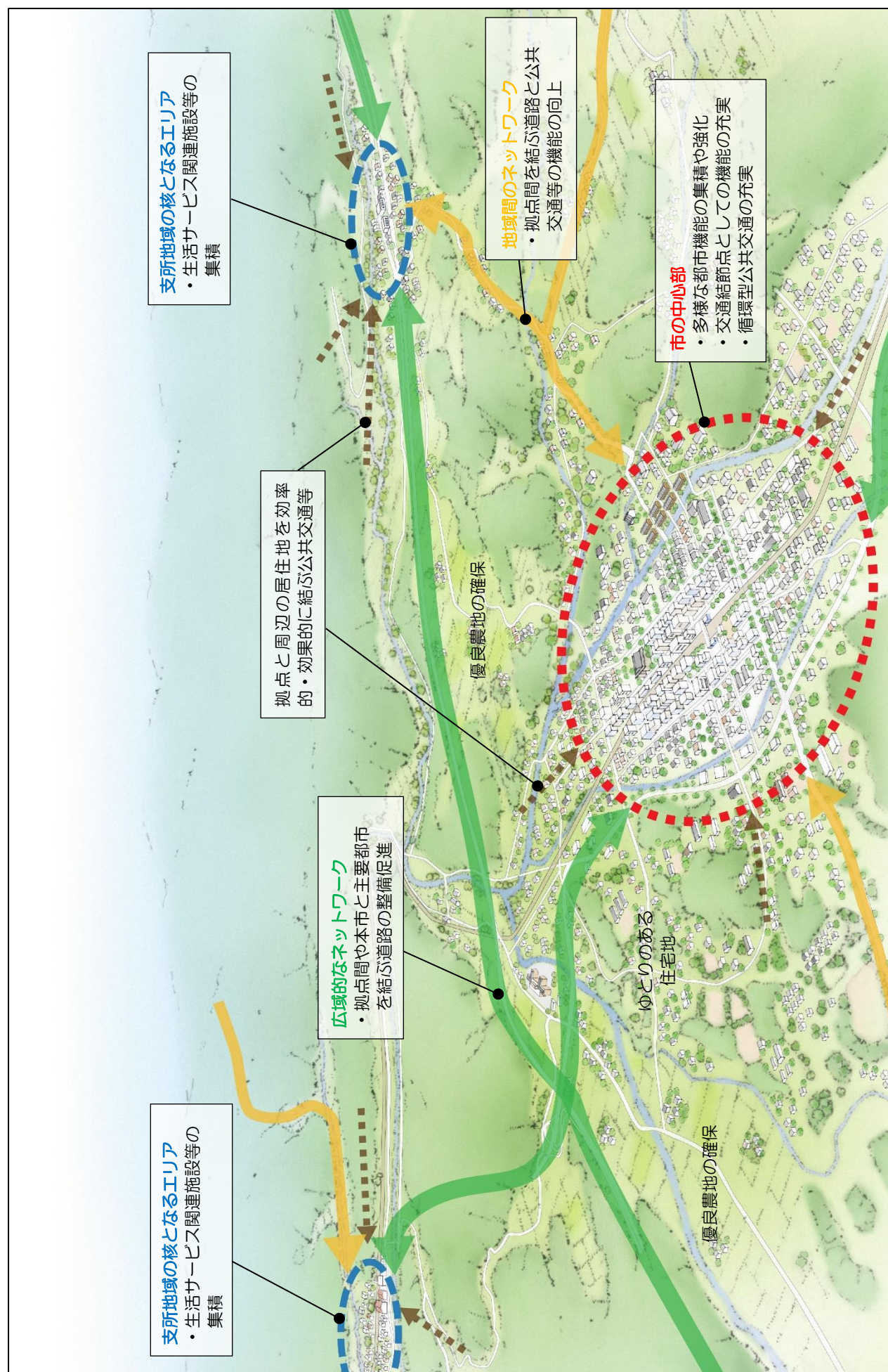


図. 目指すべき都市構造のイメージ

## 2. 将来都市構造

目指すべき都市構造の実現に向けて、拠点（点）・軸（線）・土地利用（面）の3つの要素により市域全体を捉え、将来都市構造を示します。

### （1）都市活動拠点

#### 1）都市活動拠点の設定

- ・市全体を支える都市の核となる拠点や支所地域の拠点として、地域における交通結節点であり、公共施設等が集積するエリアを「都市活動拠点」に設定します。
- ・都市活動拠点のうち、市全体の中心部を「都市拠点」とし、支所地域における生活や交流活動、交通等の拠点を「地域拠点」とします。

| 都市活動拠点 | 地 域             | 位 置                                         |
|--------|-----------------|---------------------------------------------|
| ①都市拠点  | 高山地域            | 市街地中心部                                      |
| ②地域拠点  | 丹生川地域           | 町方・坊方地区                                     |
|        | 清見地域            | 三日町地区                                       |
|        | 荘川地域            | 新湊・猿丸地区                                     |
|        | 一之宮地域           | 一之宮支所周辺                                     |
|        | 久々野地域           | 無数河・久々野地区                                   |
|        | 朝日地域            | 万石・甲地区                                      |
|        | 高根地域            | 上ヶ洞地区<br>日和田地区                              |
|        | 国府地域            | 広瀬町・三日町・木曾垣内地区                              |
|        | 上宝・奥飛騨温泉郷<br>地域 | 本郷・在家地区<br>栃尾・村上地区<br>[交通拠点等]<br>平湯地区、新穂高地区 |

#### 2）都市活動拠点の方針

##### ①都市拠点

- ・都市活動の中心拠点として、商業・業務、観光・交流、行政機能等、多様な都市機能の集積や強化を図ります。
- ・交通結節点としての機能の充実により、各地域とのアクセスの向上を図ります。
- ・循環型公共交通の充実や歩行者にやさしい道路整備の推進により、回遊性の向上や歩いて暮らせるまちづくりをすすめます。

##### ②地域拠点

- ・地域における生活や交流活動の拠点となる場所として、生活サービス関連施設等の集積により、日常生活における利便性の向上を図ります。
- ・都市拠点や地域拠点間、地域拠点と周辺の居住地を効率的・効果的に結ぶ地域公共交通システムの構築により、アクセスの向上を図ります。



### 3) 都市活動拠点等を結ぶ情報ネットワーク

- ・都市活動拠点間や都市活動拠点と周辺の居住地、本市と市外の地域などを結ぶ情報ネットワークや情報通信に関する先端技術の活用をすすめ、日常生活の利便性の向上や産業等の発展を促進します。

## (2) 都市連携軸

### 1) 都市連携軸の設定

- ・地域間の連携・交流や日常生活における移動、災害時の輸送等を担う都市のネットワークとして、都市活動拠点を結ぶ主要な道路網等を都市連携軸に設定します。
- ・都市連携軸のうち、本市と主要都市とを広域的に結ぶ道路や鉄道を「広域連携軸」とし、地域拠点を結ぶ道路を「地域連携軸」とします。

| 都市連携軸  | 位 置                                                             |
|--------|-----------------------------------------------------------------|
| ①広域連携軸 | 東海北陸自動車道、中部縦貫自動車道、国道 41 号、JR 高山本線                               |
| ②地域連携軸 | 国道 158 号、国道 361 号、国道 156 号、国道 471 号<br>県道高山清見線、県道久々野朝日線、県道国府見座線 |

### 2) 都市連携軸の方針

#### ①広域連携軸

- ・東海北陸自動車道や中部縦貫自動車道、国道 41 号石浦バイパスの整備促進により、広域交通の更なる利便性向上や各種産業の活性化、災害時の輸送道路としての機能向上などを図ります。
- ・関係機関への要請等により、JR 高山本線における鉄道の利便性向上を促進します。

#### ②地域連携軸

- ・国、県道など主要幹線道路の整備促進と適切な維持管理により、都市活動拠点間の連携や安全で快適な生活道路の確保などを図ります。

### (3) 土地利用

#### 1) 土地利用区分

計画的な土地利用の推進を図るため、地域の特性に応じた区域設定を行います。

| 区域名称      | 区域設定の考え方                                    |
|-----------|---------------------------------------------|
| ①中心商業業務区域 | JR 高山駅を中心とした多様な都市機能が集積する区域                  |
| ②市街地住居区域  | 中心商業業務区域の周辺において、中低層の住宅と商業・業務施設等とが混在して立地する区域 |
| ③郊外住居区域   | 市街地住居区域の外側や支所地域において、主に戸建住宅が立地する区域           |
| ④田園区域     | 市街地郊外や支所地域における田園地帯や田園集落地等の区域                |
| ⑤商工業集積区域  | 商工業施設や流通業務施設等が集積する区域                        |
| ⑥自然環境区域   | 自然公園や温泉地など特色ある自然資源を有する区域                    |
| ⑦森林・山間区域  | 森林地域や山間集落地等の区域                              |

#### 2) 区域別の土地利用の方針

##### ①中心商業業務区域

- ・商業・業務、観光・交流、行政機能等、多様な都市機能の集積や強化により、快適で利便性の高いまちづくりを推進します。
- ・交通結節点としての機能の充実により、各地域や他都市とのアクセスの向上を図ります。
- ・循環型公共交通の充実や歩行者にやさしい道路整備の推進により、回遊性の向上や歩いて暮らせるまちづくりをすすめます。
- ・中心市街地の活性化や空き家・空き店舗等の有効活用の促進により、商店街の賑わい創出やまちなか居住の促進を図ります。
- ・景観計画や歴史的風致維持向上計画に基づく、旧城下町区域の歴史的な町並み景観の保全と活用により、魅力あるまちづくりを推進します。

##### ②市街地住居区域

- ・商業・業務施設等が近隣に立地する利便性の高い中低層の住宅地の形成を図ります。
- ・効率的で効果的な地域公共交通システムの構築により、アクセスの向上を図ります。
- ・主要幹線道路沿線においては、中心市街地の商業機能を補完する秩序ある沿道商業空間の形成を促進し、大規模集客施設の立地を制限します。

### ③郊外住居区域

- ・周辺の自然環境等と調和のとれた、戸建住宅が中心のゆとりのある住宅地の形成を図ります。
- ・生活サービス関連施設の立地等により、日常生活における利便性の向上を図ります。
- ・効率的で効果的な地域公共交通システムの構築により、アクセスの向上を図ります。
- ・住宅地に近接した農地等において、必要に応じて住居系土地利用への転換などを検討します。

### ④田園区域

- ・農地の適切な保全を図り、住環境と営農環境が調和した秩序ある土地利用を推進します。
- ・農業振興施策との連携により優良農地の確保を図るとともに、より効果的な土地利用に向けた農業振興地域のあり方について検討をすすめます。
- ・農地の集積や集団化、スマート農業の推進などによる農畜産業の生産性向上を図るとともに、農道・用排水路の改修などによる農業生産基盤の強化を図ります。
- ・荒廃農地や耕作放棄地の再生・利用の促進などにより、農地の有効利用を図るとともに、水源かん養機能や良好な景観形成など多面的機能の維持を図ります。
- ・気候の変動などに対応した適地適作を促進します。

### ⑤商工業集積区域

- ・交通の利便性を活かした商工業・業務施設等の集積を促進します。
- ・周辺の住環境や自然環境との調和に配慮した秩序ある土地利用を推進します。

### ⑥自然環境区域

- ・貴重な自然環境や生態系の保全を図ります。
- ・山岳景観や温泉など特色ある自然資源について、観光資源等としての活用を図ります。
- ・高地や高原など地域の自然特性を活かしたスポーツ・レクリエーション機能の充実を図ります。

### ⑦森林・山間区域

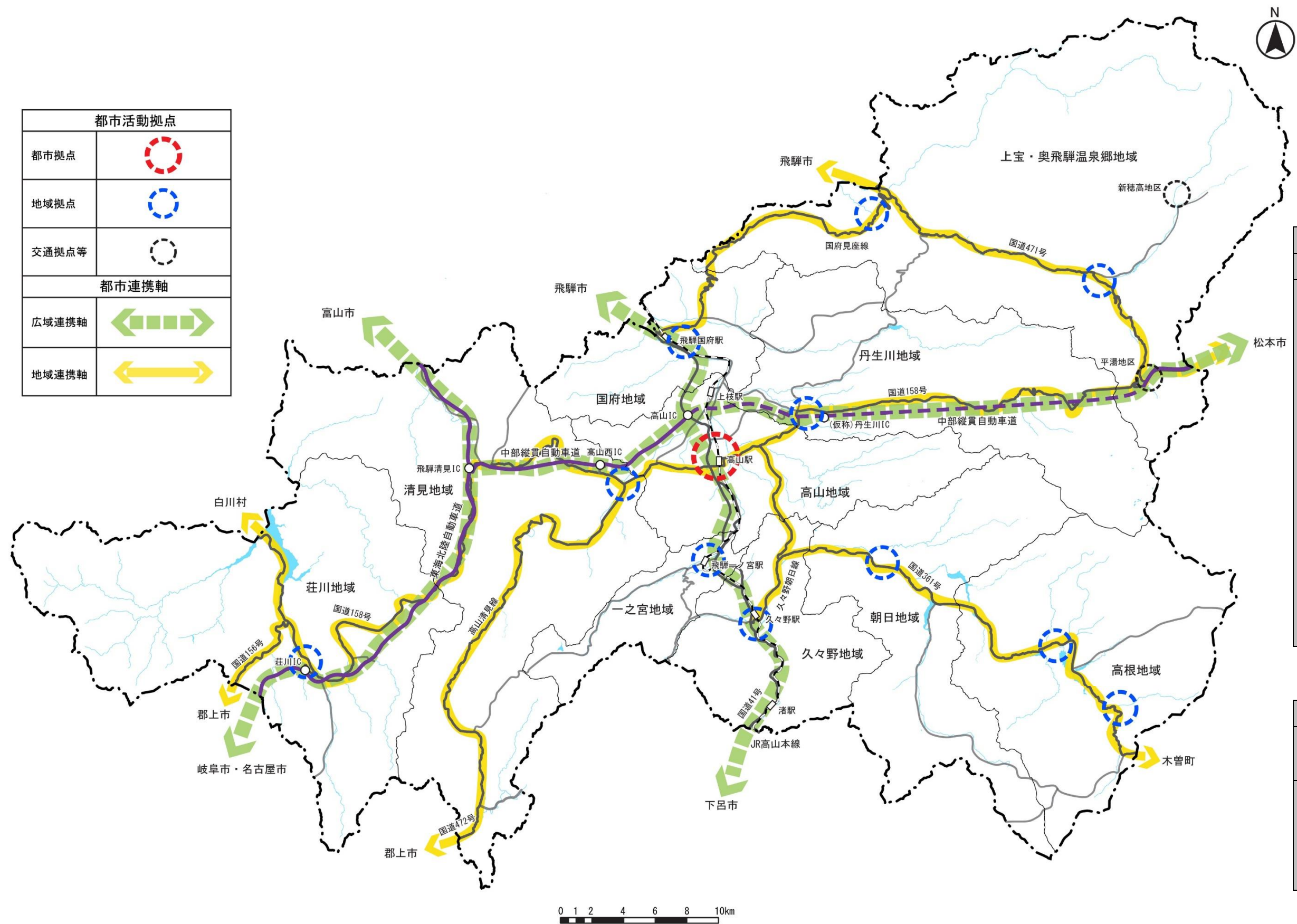
- ・100年先を見据えた長期的な視点により、区域に応じた森林づくり（木材生産と環境保全）を推進します。
- ・森林の適正な管理と整備により、土砂災害防止機能や水源かん養機能など森林の持つ多面的機能の維持・保全を図ります。
- ・森林の無秩序な開発や違法伐採を抑制し、森林環境の保全を図ります。
- ・山間集落においては、住環境の維持を図ります。

## 3) 都市計画区域における土地利用の方針

- ・都市計画制度をはじめとする各種法令等に基づき、秩序ある土地利用を推進します。
- ・原則として用途の純化を図り、秩序ある市街地の形成に努めます。ただし、中心市街地については住環境を阻害しない範囲で用途の複合化を許容し、土地の有効利用を図ります。

- ・郊外部の農地等における土地利用の制限や市街地内における低・未利用地の活用の促進により、無秩序な市街地の拡大を抑制します。
- ・将来都市構造を踏まえ、都市計画区域や用途地域のあり方について検討します。
- ・高山駅西地区における施設整備等を踏まえた商業系用途地域への変更を検討します。

将来都市構造（都市活動拠点・都市連携軸）



| 都市活動拠点 |  |
|--------|--|
| 都市拠点   |  |
| 地域拠点   |  |
| 交通拠点等  |  |
| 都市連携軸  |  |
| 広域連携軸  |  |
| 地域連携軸  |  |

○都市活動拠点

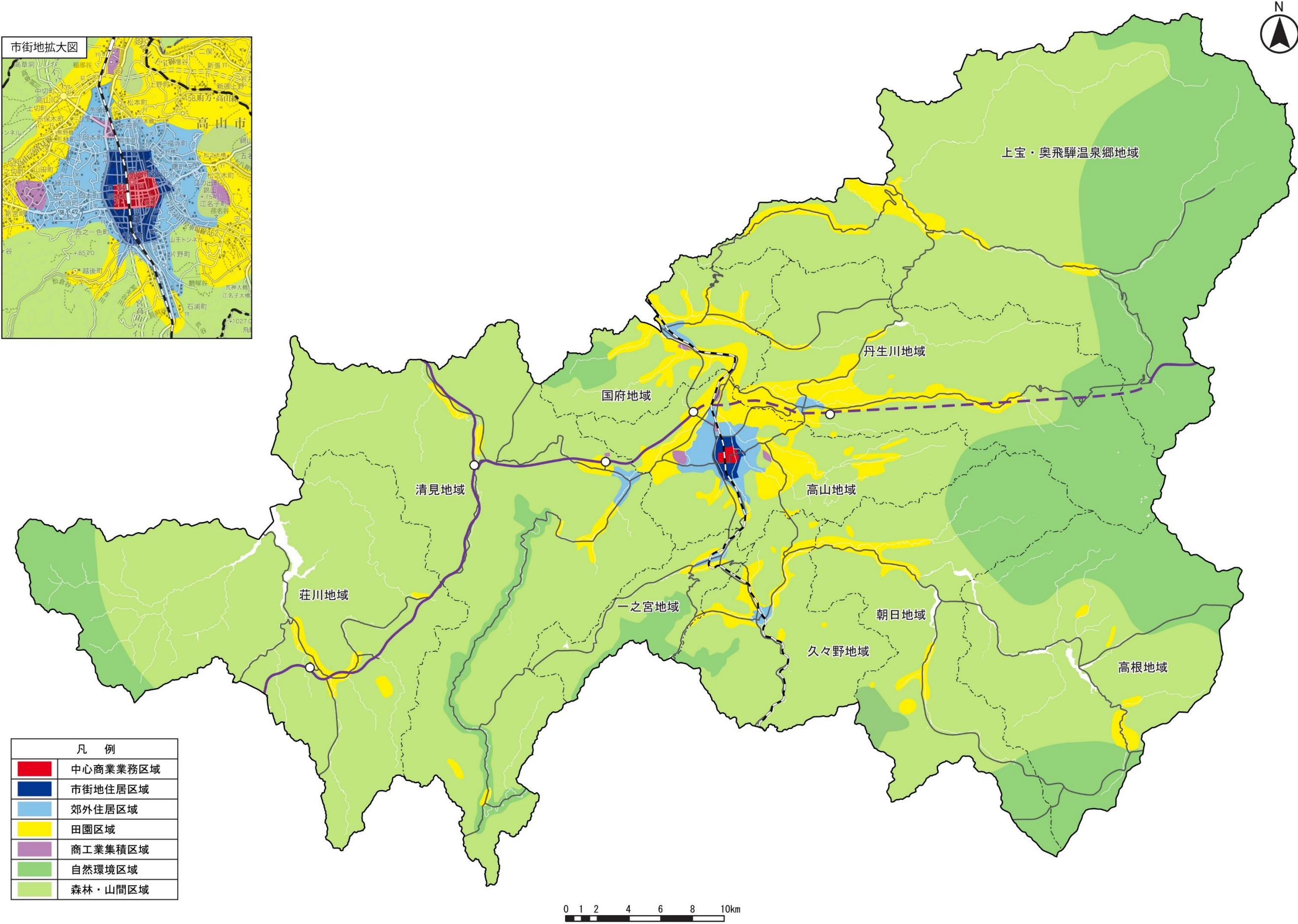
|      | 地域名               | 位 置                      |
|------|-------------------|--------------------------|
| 都市拠点 | 高 山               | 市街地中心部                   |
| 地域拠点 | 丹生川               | 町方・坊方地区                  |
|      | 清 見               | 三日町地区                    |
|      | 荘 川               | 新湊・猿丸地区                  |
|      | 一之宮               | 一之宮支所周辺                  |
|      | 久々野               | 無数河・久々野地区                |
|      | 朝 日               | 万石・甲地区                   |
|      | 高 根               | 上ヶ洞地区<br>日和田地区           |
|      | 国 府               | 広瀬町・三日町・<br>木曾垣内地区       |
|      | 上宝・<br>奥飛騨<br>温泉郷 | 本郷・在家地区<br>栃尾・村上地区       |
|      |                   | [交通拠点等]<br>平湯地区<br>新穂高地区 |

○都市連携軸

|       | 位 置                                                               |
|-------|-------------------------------------------------------------------|
| 広域連携軸 | 東海北陸自動車道、中部縦貫自動車道、国道 41 号、JR 高山本線                                 |
| 地域連携軸 | (国道)<br>158 号、361 号、156 号、471 号<br>(県道)<br>高山清見線、久々野朝日線、<br>国府見座線 |



将来都市構造（土地利用区分）



| 凡 例                                                                                               |          |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:red;"></span>        | 中心商業業務区域 |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:darkblue;"></span>   | 市街地住居区域  |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightblue;"></span>  | 郊外住居区域   |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:yellow;"></span>     | 田園区域     |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:purple;"></span>     | 商工業集積区域  |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:green;"></span>      | 自然環境区域   |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightgreen;"></span> | 森林・山間区域  |

0 1 2 4 6 8 10km

### 3. 分野別方針

関連する各分野における基本的な取り組み方針について以下に示します。

#### (1) 道路・交通

○都市連携軸の整備の促進や災害に強い道路網の形成

- ・広域連携軸である東海北陸自動車道や中部縦貫自動車道、国道 41 号石浦バイパスの整備促進により、広域交通の更なる利便性向上や各種産業の活性化、災害時の輸送道路としての機能向上などを図ります。
- ・地域連携軸である主要幹線道路の整備促進と適切な維持管理により、都市活動拠点間の連携や安全で快適な生活道路の確保などを図ります。

○都市計画道路の整備の推進

- ・都市計画道路松之木千島線及び西之一色花岡線の整備の推進により、都市内の交通の円滑化を図ります。
- ・社会経済情勢の変化や交通量、景観形成などを考慮し、都市計画道路の適時適切な見直しをすすめます。

○市街地中心部の交通混雑の解消と良好な歩行空間の創出

- ・環状道路（内環状線・外環状線）及び市街地中心部と環状道路と連絡する放射型幹線道路の配置により、市街地中心部の交通混雑の解消や通過交通の迂回を図ります。
- ・環状道路（内環状線）としての都市計画道路松之木千島線や国道 158 号の迂回道路となる市道旅行村線の整備を推進します。
- ・将来都市構造を踏まえた各路線の位置付けなど、道路交通網のあり方について総合的な検証を行います。
- ・観光目的で訪れる車両の市街地外縁部駐車場への適切な誘導等により、市街地中心部への流入抑制を図るとともに、古い町並境界における交通対策を推進します。
- ・道路の無電柱化や美装化等の整備の推進により、快適で魅力的な歩行空間の創出を図ります。

○効率的で効果的な地域公共交通システムの構築

- ・観光客の移動にも配慮した観光特化型バスの運行により、市街地における循環型公共交通の充実を図ります。
- ・各地域内にて運行している「のらマイカー」について、支所地域から市街地及び他自治体への乗り入れを検討します。
- ・地域の実情に合わせた少量輸送の導入を促進します。
- ・交通結節点の整備（待合所、ベンチの設置等）と機能強化を図ります。
- ・様々な交通手段と運行検索・予約システム等を最適に統合するサービスや自動運転、超小型モビリティ等、MaaS などの活用を検討を行い、移動の効率化と地域の移動手段の確保を図ります。

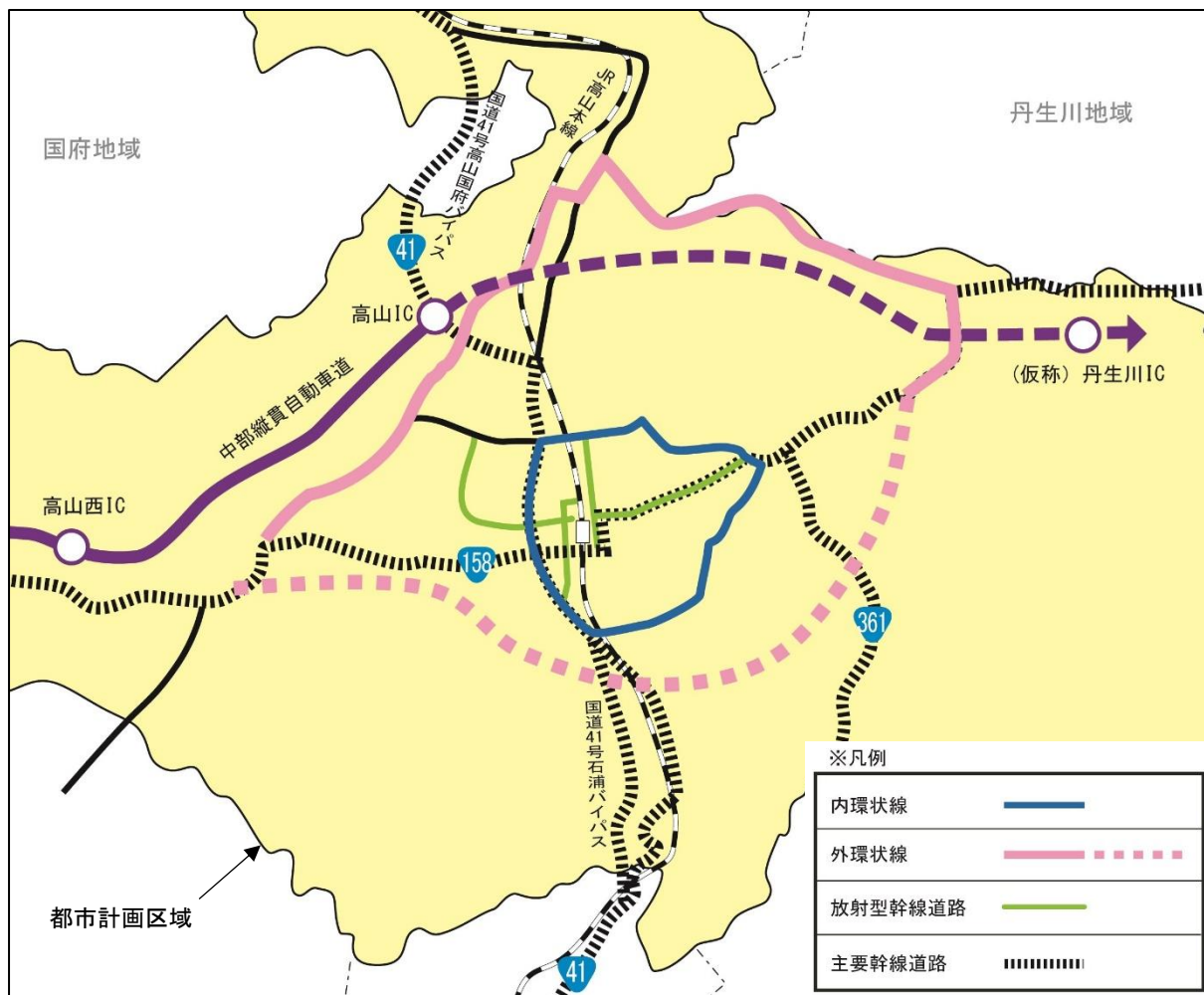


図. 市街地幹線道路網図（主な路線）

## （２）公園・緑地

### ○公園の適切な配置と利用環境の向上

- ・身近な憩いや健康増進の場、防災機能など、公園や緑地の果たす多様な役割を考慮しながら、利用目的に沿った適切な配置や新たな公園整備を検討します。
- ・利用者のニーズへの対応により、公園の利用環境の向上を図ります。
- ・地域特性や景観に配慮した公園の改修やまちかどスポット等の整備をすすめます。

### ○緑豊かな都市環境の形成

- ・公園や道路、公共公益施設の敷地などにおける緑化を推進するとともに、住宅地、集客施設、工場などの民有地の緑化を促進します。
- ・松倉、城山、東山、北山の風致地区における建築行為の規制などにより、良好な景観・緑地の保全を図ります。
- ・里山の公有化、緑の保全契約制度等により、身近な里山環境の保全を図ります。

## （３）上下水道・河川

### ○快適な暮らしと良好な水環境のための安定した上下水道の確保

- ・上水道施設や基幹管路の耐震化、老朽化対策により、上水道の安全供給を図ります。
- ・下水道の整備区域の家屋等における下水道切り替えを促進するとともに、個別の排水



処理施設により生活排水を処理する地域の家屋等については、合併処理浄化槽の設置を促進します。

- ・下水道施設の耐震化、老朽化対策により、汚水処理機能の確保を図ります。

#### ○河川環境の整備と保全

- ・河川氾濫防止のための河川改修や治水対策等の促進により、都市の安全性の確保を図ります。
- ・開発行為等による河川への雨水流出量の増加に対しては、調整池等の設置により適切な対処を図ります。
- ・河川の水質や自然環境、生態系の保全に取り組むとともに、親しみのある良好な水辺空間の創出を図ります。

### （４）その他の都市施設等

#### ○都市施設の計画的な整備

- ・老朽化が進んでいる高山市清掃工場（資源リサイクルセンター）、高山流通センター（公設卸売市場）、高山市営火葬場について、新施設の整備を推進します。
- ・将来都市構造を踏まえ、教育文化施設や福祉施設など公共施設の計画的な配置と整備を図ります。

### （５）環境保全

#### ○貴重で豊かな自然環境や生物多様性の保全の推進

- ・飛騨山脈や白山連峰をはじめとする地域特有の貴重な自然資源の保全と活用を図ります。
- ・森林における治山・治水など防災的機能や水源かん養機能の維持を図ります。
- ・公共交通の利用促進や自然エネルギーの活用などにより、環境負荷の軽減を図ります。
- ・森林や緑地、水辺における生物多様性の保全や特定外来生物の防除を図ります。

### （６）景観形成

#### ○地域固有の景観資源の保全・活用の推進

- ・景観計画等に基づいた取り組みや規制により、自然・市街地・農山村など、地域特性に応じた良好な景観の保全や創出を図ります。
- ・建造物の修景整備や防災対策に対する支援などにより、歴史的な町並み景観の保全と活用を促進します。
- ・地域固有の文化と歴史を保有しながら形成・維持されてきた風情ある田園風景や歴史遺産などの保全と活用を図ります。

#### ○伝統的建造物群保存地区、市街地景観保存区域、景観重点区域の拡大の推進

- ・寺内保存区域や東山保存区域とその周辺の建造物の調査により、重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けた取り組みを推進します。
- ・市街地景観保存区域（高山市市街地景観保存条例）、景観重点区域（景観計画）の新たな区域指定に向けた取り組みを推進します。

#### ○まちの魅力を一層向上させる新たな景観形成の推進

- ・無電柱化の推進などにより、更なる景観の向上を図ります。
- ・より効果的で実効性のある制度とするため、景観に係る規制・基準等の見直しを検討します。
- ・景観を阻害する屋外広告物の除却を促進します。
- ・まちづくり協定（高山市美しい景観と潤いのあるまちづくり条例第 8 条）の締結等により、地域と行政の連携による景観づくりを推進します。

### （７）防災

#### ○安心・安全な住環境の確保

- ・街頭防犯カメラ・街路灯の設置、道路や公園等を防犯に配慮した構造とするなど、犯罪が発生しにくい環境づくりに努めます。
- ・空き家等の有効活用を促進するとともに、管理されない空き家等については、適切な維持管理や除却を促進し、倒壊等による事故の防止、防犯対策、良好な景観の維持を図ります。

#### ○災害に強い都市づくりの推進

- ・建築物の耐震化や不燃化などを促進するとともに、延焼遮断帯や避難場所となる公園・緑地などのオープンスペースの確保を図ります。
- ・農地や森林の保全による水源かん養機能及び防災的機能の維持を図るとともに、必要な開発においては従前の保水機能の復元や代替措置を講ずるよう適切な指導を行います。
- ・砂防指定地や土砂災害特別警戒区域などにおける開発の抑制を図るとともに、砂防施設整備等のハード対策を促進します。
- ・道路・橋りょう、水道など重要インフラの耐震化対策、老朽化対策を推進するとともに、代替機能等を考慮した道路ネットワークの構築や緊急輸送道路等の無電柱化を推進します。
- ・伝統的建造物群保存地区において設置しているグループ式の自動火災報知機について、機器更新や新技術の取り入れの検討をすすめます。
- ・地域防災センターの整備や地域防災リーダーの育成などにより、地域防災力の強化と市民の防災意識の向上を図ります。
- ・大規模災害の発生により市域に壊滅的な被害が及んだ場合、被災後の復興において目指す都市構造は、本計画で示す将来都市構造を基本とし、被災前よりも災害に強い都市づくりを目指します。

## 第5章 地域別構想

### 1. 地域区分の考え方

広大な面積を有する本市の現況を踏まえ、より市民生活に密着した構想とするために、市域を旧市町村域である10地域に区分し、各地域の特性に応じた地域別構想を示します。



図. 地域区分

### 2. 地域別の方向性

地域の概況を踏まえたうえで、地域づくりの方向性及び地域づくり方針図を、地域別に表示します。

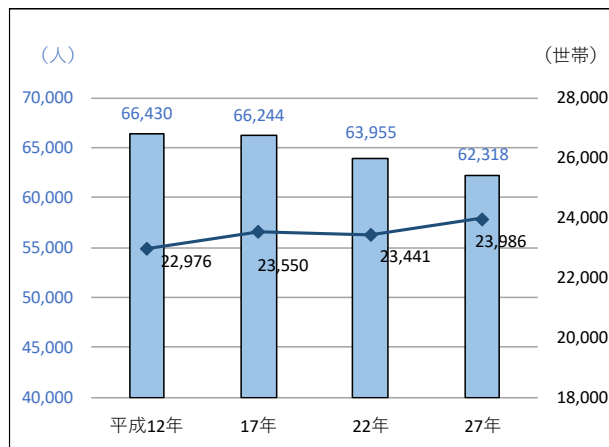
# 高山地域

## 1. 地域の概況

### ■位置



### ■人口及び世帯数の推移



|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要    | <ul style="list-style-type: none"> <li>高山地域は、市の中央部に位置しています。JR 高山駅を中心に、業務機能や商業施設等が集積しており、市の中心部として、さらには飛騨圏域の中核として、商業・業務機能を果たしている地域です。</li> <li>中心部では高山祭や古い町並など歴史・文化を活用した観光産業が盛んなほか、郊外部では水稻や高冷地野菜の栽培などの農業も盛んであり、第2次産業も含めて、地域の中で多様な産業が見られます。</li> </ul>                                                                            |
| 人口    | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27（2015）年の人口は62,318人で、市全体に対する割合は69.9%です。</li> <li>人口は平成17（2005）年と比べ5.9%減（市内平均7.3%減）となっています。</li> <li>年齢階層別の人口割合は、年少人口が13.7%で減少傾向にあり、高齢者人口は29.5%で増加傾向にあります。</li> <li>世帯数は平成17（2005）年と比べ1.9%増（市内平均1.6%増）となっています。</li> </ul>                                                             |
| 土地利用  | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域全体を都市計画区域に指定しており、市街地には用途地域を指定しています。</li> <li>JR 高山駅を中心に、市街地には業務機能や商業施設等が集積しています。</li> <li>中心市街地では、空き家等が増加し、商店街の商業施設が減少するなど空洞化が見られる一方、用途地域の外縁部では宅地が増加傾向にあります。</li> <li>近年の観光客の増加に伴い、中心市街地ではホテル建設が急増しています。</li> <li>市街地を取り囲むように里山の緑が存在しており、郊外部には田園が広がるなど、多くの自然が存在しています。</li> </ul>      |
| 道路・交通 | <ul style="list-style-type: none"> <li>JR 高山本線が地域の中央部を南北に縦断しており、JR 高山駅周辺は土地区画整理事業や駅前広場の整備等により、交通結節点としての機能が強化されています。</li> <li>国道41号が南北に、国道158号が東西に地域内を貫いており、中心市街地を横断する国道158号は、渋滞が発生しやすくなっています。</li> <li>中部縦貫自動車道の高山ICが、東海地方や北陸地方からの玄関口となっています。</li> <li>公共交通は、地域内の主要路線で自主運行バスを運行しているほか、国道158号などの幹線道路では幹線バスが運行されています。</li> </ul> |
| 景観資源等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地の東部は近世城下町であり、二つの重要伝統的建造物群保存地区や高山祭など、多くの歴史的・文化的資産が存在しています。</li> <li>歴史的な町並み景観をはじめ、市街地を取り囲むように存在する里山の緑や、郊外で見られる田園風景など、様々な種別の景観資源が保全されています。</li> </ul>                                                                                                                                |

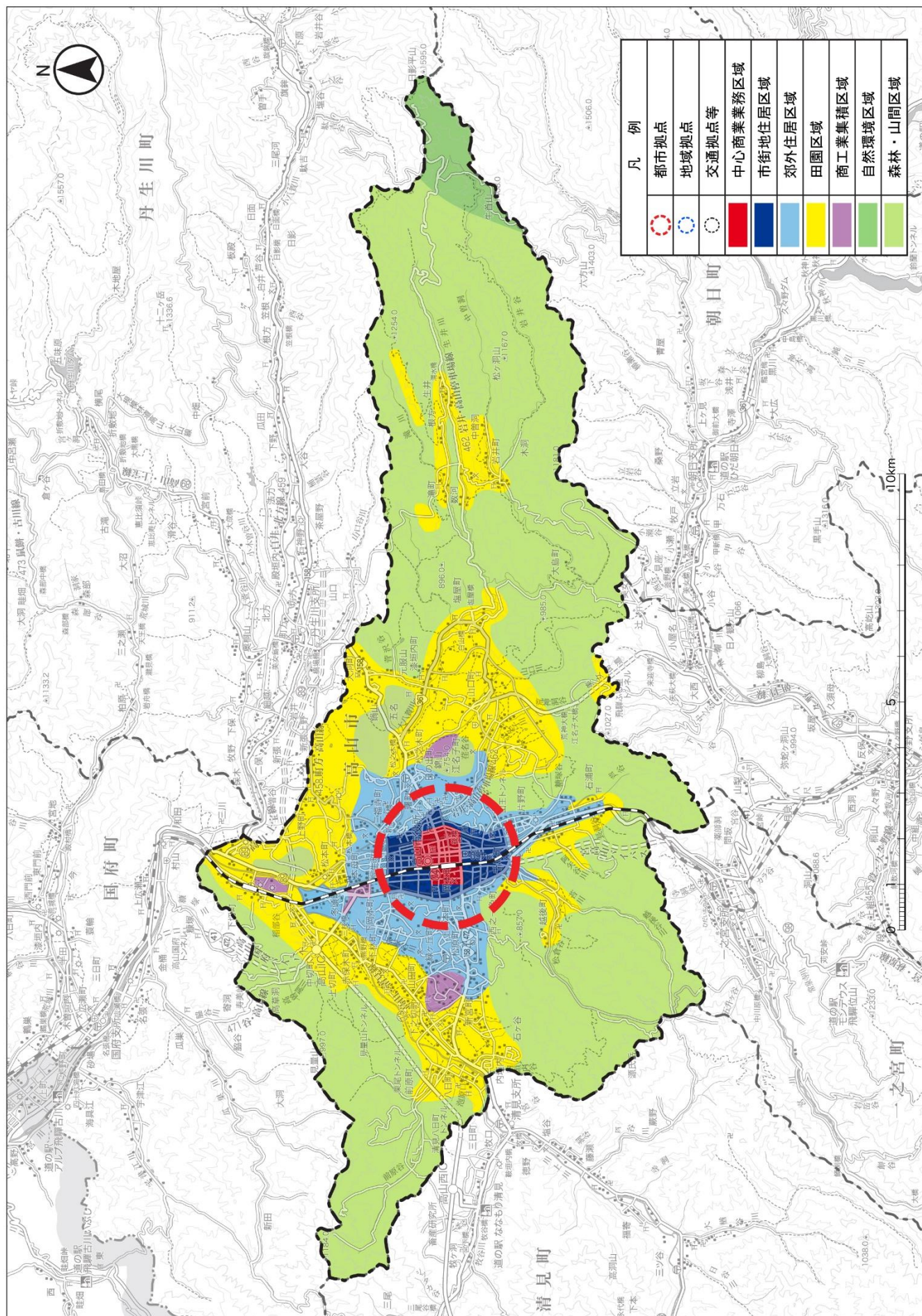
## 2. 地域づくりの方向性

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 都市活動拠点 | <p>●都市拠点【市街地中心部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市活動の中心拠点として、商業・業務、観光・交流、行政機能等、多様な都市機能の集積や強化を図ります。</li> <li>・交通結節点としての機能の充実により、各地域とのアクセスの向上を図ります。</li> <li>・循環型公共交通の充実や歩行者にやさしい道路整備の推進により、回遊性の向上や歩いて暮らせるまちづくりをすすめます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 都市連携軸  | <p>●広域連携軸</p> <p>道路：中部縦貫自動車道、国道 41 号</p> <p>鉄道：JR 高山本線</p> <p>交通：高速バス（各線）、幹線バス（各線）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中部縦貫自動車道、国道 41 号石浦バイパスの整備促進により、広域交通の更なる利便性向上や各種産業の活性化などを図ります。</li> <li>・関係機関への要請等により、JR 高山本線における鉄道の利便性向上を促進します。</li> </ul> <p>●地域連携軸</p> <p>道路：国道 158 号、国道 361 号</p> <p>交通：幹線バス（各線）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道 158 号、国道 361 号の整備促進と適切な維持管理により、都市活動拠点間の連携や安全で快適な生活道路の確保などを図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 土地利用   | <p>●中心商業業務区域【JR 高山駅を核として周囲に形成される商業・業務地】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商業・業務、観光・交流、行政機能等、多様な都市機能の集積や強化により、快適で利便性の高いまちづくりを推進します。</li> <li>・交通結節点としての機能の充実により、各地域や他都市とのアクセスの向上を図ります。</li> <li>・循環型公共交通の充実や歩行者にやさしい道路整備の推進により、回遊性の向上や歩いて暮らせるまちづくりをすすめます。</li> <li>・中心市街地の活性化や空き家・空き店舗等の有効活用の促進により、商店街の賑わい創出やまちなか居住の促進を図ります。</li> <li>・景観計画や歴史的風致維持向上計画に基づく、旧城下町区域の歴史的な町並み景観の保全と活用により、魅力あるまちづくりを推進します。</li> <li>・高度地区として建築物の高さ規制を行い、美しい眺望景観の保全や良好な住環境の維持を図ります。</li> <li>・高山駅西地区における施設整備などにより、JR 高山駅周辺の活性化を図ります。</li> <li>・商業・業務機能の充実のため、高山駅西地区において商業系用途地域への変更を検討します。</li> </ul> <p>●市街地住居区域【中心商業業務区域の周辺に形成される住居地】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商業・業務施設等が近隣に立地する利便性の高い中低層の住宅地の形成を図ります。</li> <li>・効率的で効果的な地域公共交通システムの構築により、アクセスの向上を図ります。</li> <li>・国道 41 号沿線においては、中心市街地の商業機能を補完する秩序ある沿道商業空間の形成を促進し、大規模集客施設の立地を制限します。</li> <li>・松倉・民俗村エリアの再整備により、観光拠点づくりを推進するとともに、民俗村エリアにおいては特別用途地区（観光地区）として適正な土地利用の規制・誘導を図ります。</li> </ul> |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 土地利用 | <p>●郊外住居区域【市街地郊外に広がる住居地】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の自然環境等と調和のとれた、戸建住宅が中心のゆとりのある住宅地の形成を図ります。</li> <li>・生活サービス関連施設の立地等により、日常生活における利便性の向上を図ります。</li> <li>・効率的で効果的な地域公共交通システムの構築により、アクセスの向上を図ります。</li> <li>・住宅地に近接した農地等において、必要に応じて住居系土地利用への転換などを検討します。</li> <li>・地区計画が定められている中山地区については、地区整備計画に基づき、閑静で自然豊かな住宅地として良好な住環境の形成を図ります。</li> <li>・東山風致地区、北山風致地区、城山風致地区において、建築行為などの規制により、良好な景観・緑地の保全を図ります。</li> </ul> <p>●田園区域【市街地郊外に広がる田園地帯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の適切な保全を図り、住環境と営農環境が調和した秩序ある土地利用を推進します。</li> <li>・農業振興施策との連携により優良農地の確保を図るとともに、より効果的な土地利用に向けた農業振興地域のあり方について検討をすすめます。</li> <li>・農地の集積や集団化、スマート農業の推進などによる農畜産業の生産性向上を図るとともに、農道・用排水路の改修などによる農業生産基盤の強化を図ります。</li> <li>・荒廃農地や耕作放棄地の再生・利用の促進などにより、農地の有効利用を図るとともに、水源かん養機能や良好な景観形成など多面的機能の維持を図ります。</li> <li>・気候の変動などに対応した適地適作を促進します。</li> <li>・滝町根方景観重点区域において、地域と協働した棚田の保存・再生などにより、良好な農山村景観の保全と活用を図ります。</li> <li>・中部縦貫自動車道高山 IC 周辺においては、営農環境との調和を図りながら、交通の利便性を活かした施設などの立地の促進を図ります。</li> </ul> <p>●商工業集積区域【工場団地や卸売市場周辺など】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問屋町及び冬頭町の特別用途地区（特別業務地区）については、交通の利便性を活かした商工業・業務施設等の集積を促進し、適正な土地利用の規制・誘導を図ります。</li> <li>・高山第一・第二工場団地や高山東部工場団地、下切町に形成される工業地については、周辺の住環境や自然環境との調和に配慮した秩序ある土地利用を推進します。</li> </ul> <p>●自然環境区域【乗鞍山麓】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗鞍山麓の自然環境の保全を図るとともに、健康づくりやスポーツ活動の場としての活用を図ります。</li> </ul> <p>●森林・山間区域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100 年先を見据えた長期的な視点により、区域に応じた森林づくり（木材生産と環境保全）を推進します。</li> <li>・森林の適正な管理と整備により、土砂災害防止機能や水源かん養機能など森林の持つ多面的機能の維持・保全を図ります。</li> <li>・森林の無秩序な開発や違法伐採を抑制し、森林環境の保全を図ります。</li> <li>・松倉風致地区において、建築行為などの規制により、良好な景観・緑地の保全を図ります。</li> </ul> |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



### 3. 地域づくり方針図





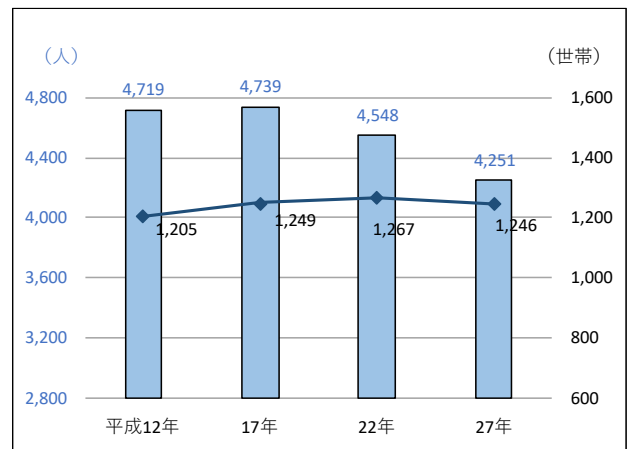
# 丹生川地域

## 1. 地域の概況

### ■位置



### ■人口及び世帯数の推移

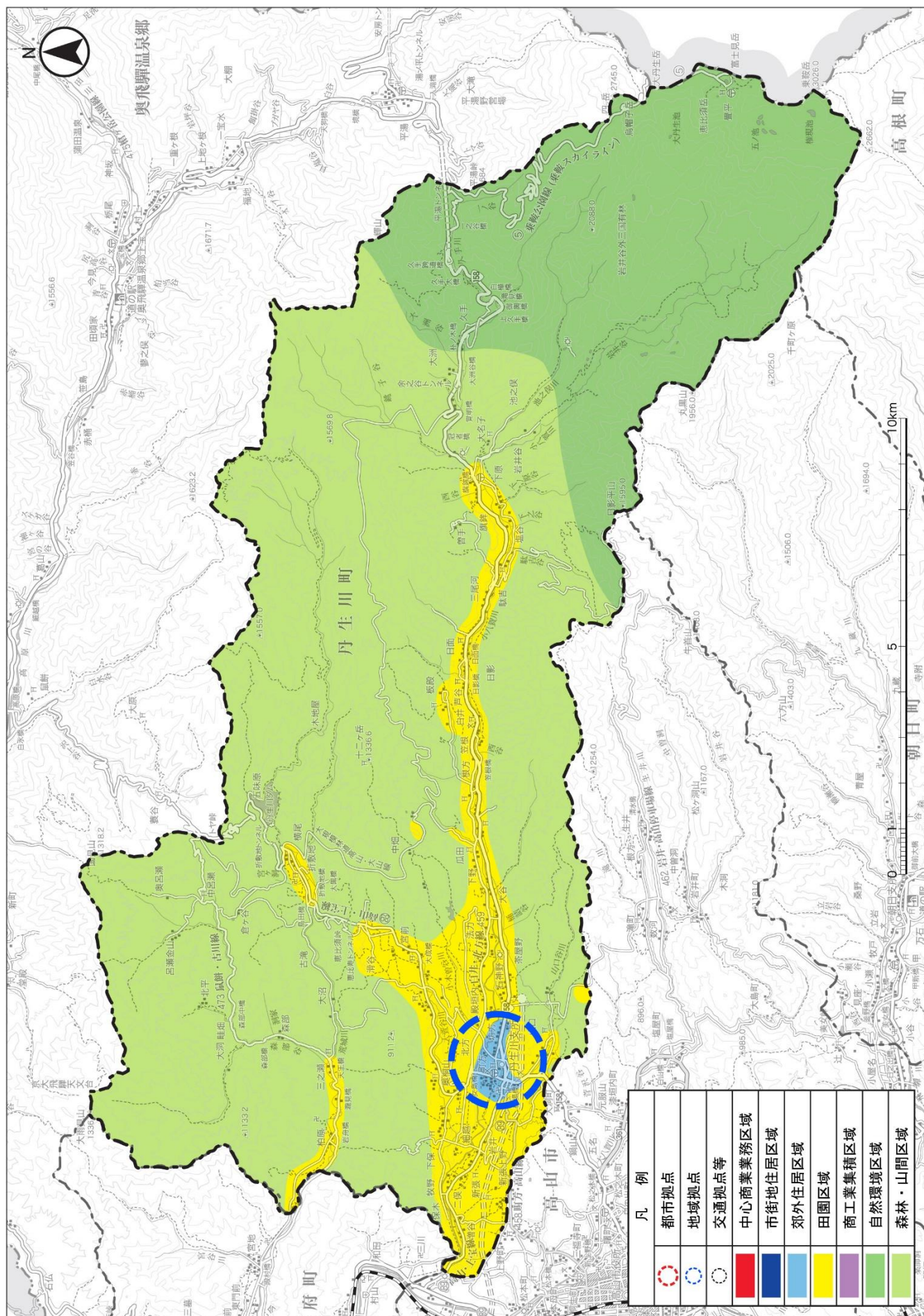


|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・丹生川地域は、市の東側に位置し、乗鞍岳や乗鞍山麓五色ヶ原の森など雄大な自然資源を有する地域です。</li> <li>・自然資源を活用した観光産業のほか、トマトやホウレンソウなどの高冷地野菜の一大生産地として農業が盛んです。</li> </ul>                                                                                                                |
| 人口    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27（2015）年の人口は 4,251 人で、市全体に対する割合は 4.8%です。</li> <li>・人口は平成 17（2005）年と比べ 10.3%減（市内平均 7.3%減）となっています。</li> <li>・年齢階層別の人口割合は、年少人口が 14.1%で減少傾向にあり、高齢者人口は 30.3%で増加傾向にあります。</li> <li>・世帯数は平成 17（2005）年と比べ 0.2%減（市内平均 1.6%増）となっています。</li> </ul> |
| 土地利用  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・町方・坊方・山口・新張地区は、都市計画区域に指定しています。</li> <li>・町方・坊方地区には、支所庁舎や診療所、福祉センター、小中学校、保育園など、公共施設が集積しています。</li> <li>・都市計画区域内の人口が地域内の人口の半数を占め、特に町方地区では住宅の立地が増加傾向にあります。</li> </ul>                                                                         |
| 道路・交通 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道 158 号が地域内を東西に横断しています。</li> <li>・中部縦貫自動車道の高山 IC から（仮称）丹生川 IC までの延伸がすすめられています。</li> <li>・公共交通は、地域内の主要路線で自主運行バスを運行しているほか、国道 158 号では幹線バス（平湯・新穂高線）が運行されています。</li> </ul>                                                                     |
| 景観資源等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・北方・法力地区の旧平湯街道沿いには、風情ある田園風景の中に伝統的な農家建築が点在しており、「丹生川町北方法力景観重点区域」に指定しています。</li> <li>・乗鞍岳や乗鞍山麓五色ヶ原の森といった貴重な自然資源が存在しており、保全と活用を両立しながら観光振興を推進しています。</li> </ul>                                                                                    |

## 2. 地域づくりの方向性

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 都市活動拠点 | <p>●<b>地域拠点【町方・坊方地区】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における生活や交流活動の拠点となる場所として、生活サービス関連施設等の集積により、日常生活における利便性の向上を図ります。</li> <li>・都市拠点や地域拠点間、地域拠点と周辺を効率的・効果的に結ぶ地域公共交通システムの構築により、アクセスの向上を図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 都市連携軸  | <p>●<b>広域連携軸</b><br/> 道路：中部縦貫自動車道<br/> 交通：高速バス（新宿線ほか）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中部縦貫自動車道の整備促進により、広域交通の更なる利便性向上や各種産業の活性化などを図ります。</li> </ul> <p>●<b>地域連携軸</b><br/> 道路：国道 158 号<br/> 交通：幹線バス（平湯・新穂高線）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道 158 号の整備促進と適切な維持管理により、都市活動拠点間の連携や安全で快適な生活道路の確保などを図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 土地利用   | <p>●<b>郊外住居区域【町方・坊方地区に形成される住居地】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中部縦貫自動車道の延伸により、今後更に交通の利便性向上が見込まれることから、市街地への道路アクセスの良さを活かした計画的な土地利用を推進します。</li> <li>・周辺の自然環境等と調和のとれた、戸建住宅が中心のゆとりのある住宅地の形成を図ります。</li> <li>・生活サービス関連施設の立地等により、日常生活における利便性の向上を図ります。</li> <li>・効率的で効果的な地域公共交通システムの構築により、アクセスの向上を図ります。</li> <li>・住宅地に近接した農地等において、必要に応じて住居系土地利用への転換などを検討します。</li> </ul> <p>●<b>田園区域【小八賀川沿いなどに広がる田園集落地】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の適切な保全を図り、住環境と営農環境が調和した秩序ある土地利用を推進します。</li> <li>・農業振興施策との連携により優良農地の確保を図るとともに、より効果的な土地利用に向けた農業振興地域のあり方について検討をすすめます。</li> <li>・農地の集積や集団化、スマート農業の推進などによる農畜産業の生産性向上を図るとともに、農道・用排水路の改修などによる農業生産基盤の強化を図ります。</li> <li>・荒廃農地や耕作放棄地の再生・利用の促進などにより、農地の有効利用を図るとともに、水源かん養機能や良好な景観形成など多面的機能の維持を図ります。</li> <li>・気候の変動などに対応した適地適作を促進します。</li> <li>・丹生川町北方法力景観重点区域において、良好な農山村景観の保全と活用を図ります。</li> <li>・（仮称）丹生川 IC 周辺では、交通の利便性を活かした土地利用を検討するとともに、無秩序な開発により住環境や自然環境、景観が阻害されないよう、適正な土地利用の推進を図ります。</li> </ul> <p>●<b>自然環境区域【乗鞍山麓】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗鞍山、乗鞍山麓五色ヶ原の森などの自然環境と生態系の保全を図るとともに、観光資源としての活用を図ります。</li> </ul> <p>●<b>森林・山間区域</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100 年先を見据えた長期的な視点により、区域に応じた森林づくり（木材生産と環境保全）を推進します。</li> <li>・森林の適正な管理と整備により、土砂災害防止機能や水源かん養機能など森林の持つ多面的機能の維持・保全を図ります。</li> <li>・森林の無秩序な開発や違法伐採を抑制し、森林環境の保全を図ります。</li> <li>・山間集落においては、住環境の維持を図ります。</li> </ul> |

### 3. 地域づくり方針図





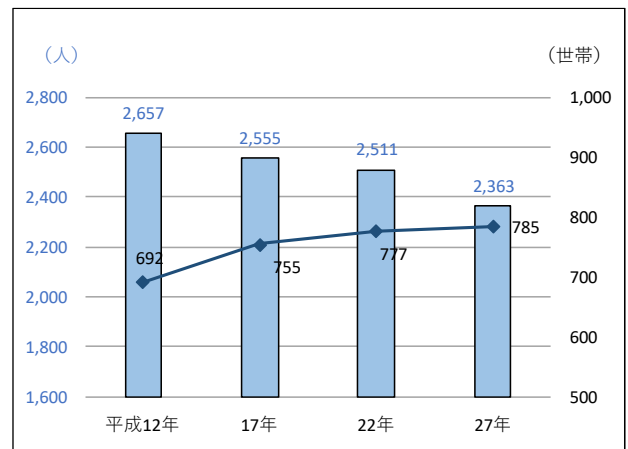
# 清見地域

## 1. 地域の概況

### ■位置



### ■人口及び世帯数の推移

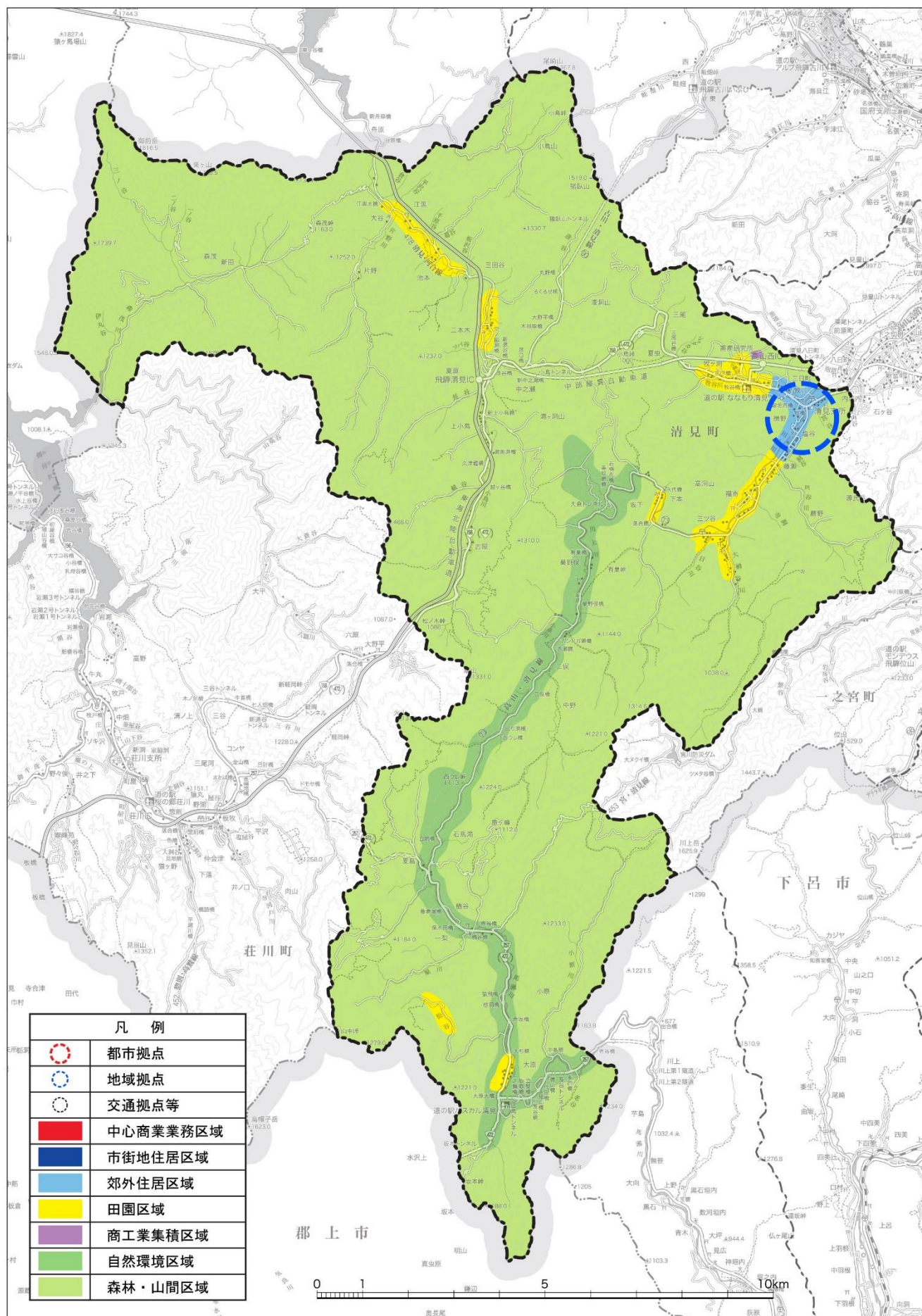


|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 清見地域は、市中心部から西南側に位置し、飛騨せせらぎ街道をはじめ、美しい水と緑に育まれた自然を有する地域です。</li> <li>・ 飛騨牛の生産を中心とした農畜産物の生産地であるとともに、都市部との交通アクセスが良く、自然資源を活かした自然体験などの取り組みが行われています。</li> </ul>                                                                                                       |
| 人口    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 27（2015）年の人口は 2,363 人で、市全体に対する割合は 2.6%です。</li> <li>・ 人口は平成 17（2005）年と比べ 7.5%減（市内平均 7.3%減）となっています。</li> <li>・ 年齢階層別の人口割合は、年少人口が 13.2%で減少傾向にあり、高齢者人口は 33.1%で増加傾向にあります。</li> <li>・ 世帯数は平成 17（2005）年と比べ 4.0%増（市内平均 1.6%増）となっています。</li> </ul>                  |
| 土地利用  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三日町・牧ヶ洞地区は、都市計画区域に指定しています。</li> <li>・ 三日町地区には、支所庁舎や診療所、福祉センター、小中学校、保育園など、公共施設が集積しています。</li> <li>・ 都市計画区域内の人口が地域内の人口の半数を占め、居住が集中しているほか、牧ヶ洞地区や藤瀬地区では住宅の立地も微増しています。</li> <li>・ 地域の面積の約 96%は森林となっています。</li> <li>・ 中部縦貫自動車道高山西 IC 付近には、企業誘致用の造成地があります。</li> </ul> |
| 道路・交通 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東海北陸自動車道と中部縦貫自動車道が地域内を貫いており、飛騨清見 IC と高山西 IC の二つのインターチェンジがあります。</li> <li>・ 国道 158 号と県道高山清見線（飛騨せせらぎ街道）が、地域の主要道路となっています。</li> <li>・ 公共交通は、地域内の主要路線で自主運行バスを運行しているほか、国道 158 号では幹線バス（荘川線）が運行されています。</li> </ul>                                                     |
| 景観資源等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然と山稜眺望が美しく、県立自然公園でもある飛騨せせらぎ街道沿線は「清見せせらぎ街道景観重点区域」に指定しており、住民等による景観保全活動が行われています。</li> </ul>                                                                                                                                                                    |

## 2. 地域づくりの方向性

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 都市活動拠点 | <p>●<b>地域拠点【三日町地区】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における生活や交流活動の拠点となる場所として、生活サービス関連施設等の集積により、日常生活における利便性の向上を図ります。</li> <li>・都市拠点や地域拠点間、地域拠点と周辺を効率的・効果的に結ぶ地域公共交通システムの構築により、アクセスの向上を図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 都市連携軸  | <p>●<b>広域連携軸</b></p> <p>道路：東海北陸自動車道、中部縦貫自動車道</p> <p>交通：高速バス（名古屋線、京都・大阪線）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東海北陸自動車道の4車線化、中部縦貫自動車道の整備促進により、広域交通の更なる利便性向上や各種産業の活性化などを図ります。</li> </ul> <p>●<b>地域連携軸</b></p> <p>道路：国道158号、県道高山清見線（飛騨せせらぎ街道）</p> <p>交通：幹線バス（荘川線）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道158号、県道高山清見線の整備促進と適切な維持管理により、都市活動拠点間の連携や安全で快適な生活道路の確保などを図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 土地利用   | <p>●<b>郊外住居区域【三日町地区及びその周辺に形成される住居地】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地への道路アクセスの良さを活かした計画的な土地利用を推進します。</li> <li>・周辺の自然環境等と調和のとれた、戸建住宅が中心のゆとりのある住宅地の形成を図ります。</li> <li>・生活サービス関連施設の立地等により、日常生活における利便性の向上を図ります。</li> <li>・効率的で効果的な地域公共交通システムの構築により、アクセスの向上を図ります。</li> <li>・住宅地に近接した農地等において、必要に応じて住居系土地利用への転換などを検討します。</li> </ul> <p>●<b>田園区域【川上川、牧谷川、小鳥川沿いに広がる田園集落地など】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の適切な保全を図り、住環境と営農環境が調和した秩序ある土地利用を推進します。</li> <li>・農業振興施策との連携により優良農地の確保を図るとともに、より効果的な土地利用に向けた農業振興地域のあり方について検討をすすめます。</li> <li>・農地の集積や集団化、スマート農業の推進などによる農畜産業の生産性向上を図るとともに、農道・用排水路の改修などによる農業生産基盤の強化を図ります。</li> <li>・荒廃農地や耕作放棄地の再生・利用の促進などにより、農地の有効利用を図るとともに、水源かん養機能や良好な景観形成など多面的機能の維持を図ります。</li> <li>・気候の変動などに対応した適地適作を促進します。</li> <li>・飛騨牛の産地として、関連施設の整備などにより、生産性の向上と経営基盤の強化を図ります。</li> </ul> <p>●<b>商工業集積区域【高山西IC付近の企業誘致候補地】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通の利便性を活かした産業等の集積を促進します。</li> </ul> <p>●<b>自然環境区域【せせらぎ渓谷県立自然公園】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飛騨せせらぎ街道沿線とその周辺の自然環境の保全を図るとともに、観光資源としての活用を図ります。</li> <li>・大倉・西ウレ・大原地区の生活環境保全林の活用により、環境教育や自然体験学習を推進します。</li> </ul> <p>●<b>森林・山間区域</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100年先を見据えた長期的な視点により、区域に応じた森林づくり（木材生産と環境保全）を推進します。</li> <li>・森林の適正な管理と整備により、土砂災害防止機能や水源かん養機能など森林の持つ多面的機能の維持・保全を図ります。</li> <li>・森林の無秩序な開発や違法伐採を抑制し、森林環境の保全を図ります。</li> <li>・山間集落においては、住環境の維持を図ります。</li> </ul> |

## 3. 地域づくり方針図





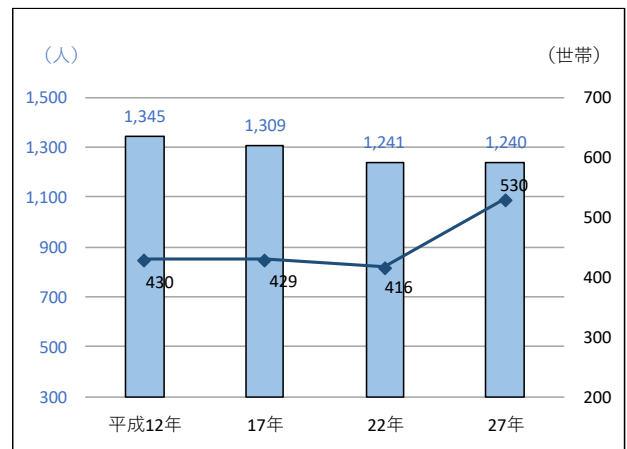
# 莊川地域

## 1. 地域の概況

### ■位置



### ■人口及び世帯数の推移

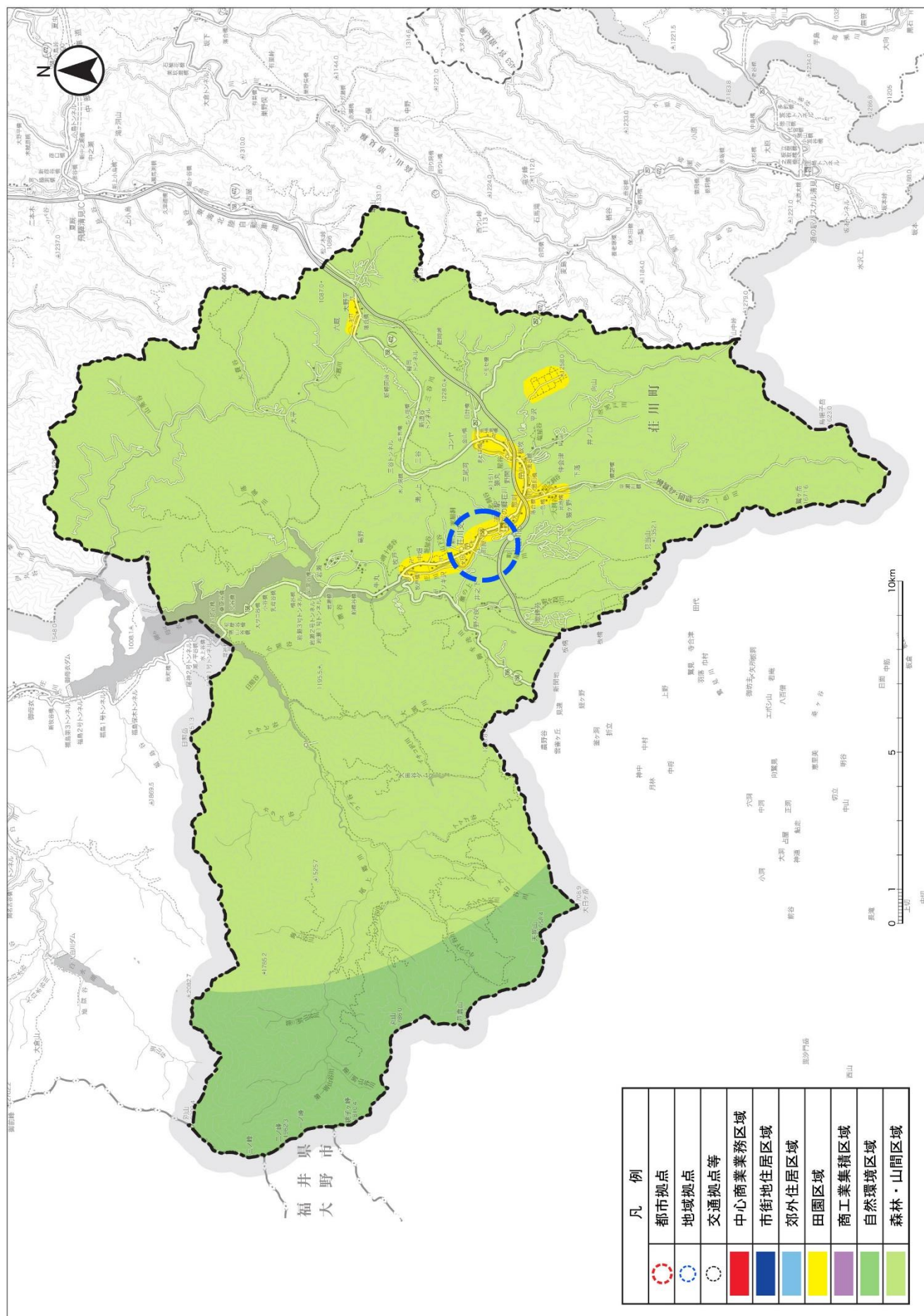


|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 荘川地域は、市の西側に位置し、白山連峰や清らかな庄川など貴重な自然資源を有する地域で、地域全体が白山ユネスコエコパークに認定されています。</li> <li>・ 高原の冷涼な特性を活かした高冷地野菜やソバが栽培され、地域の特産物となっています。</li> </ul>                                                                                                                                            |
| 人口    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 27（2015）年の人口は 1,240 人で、市全体に対する割合は 1.4％です。</li> <li>・ 人口は平成 17（2005）年と比べ 5.3％減（市内平均 7.3％減）となっています。</li> <li>・ 年齢階層別の人口割合は、年少人口が 11.4％で減少傾向にあり、高齢者人口は 37.0％で増加傾向にあります。</li> <li>・ 世帯数は平成 17（2005）年と比べ 23.5％増（市内平均 1.6％増）となっていますが、これは道路工事関係者の一時的な転入によるものも含まれると考えられます。</li> </ul> |
| 土地利用  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新湊地区には、支所庁舎や診療所、福祉センター、小学校、保育園など、公共施設が集積しています。</li> <li>・ 避暑地として山間部に別荘地や保養所が多く所在していますが、一部の別荘地では利用されなくなった所もあります。</li> <li>・ 標高 1,200m のダナ高原では、高原の冷涼な気候を活かして、大根やキャベツなどが大規模に栽培されています。</li> </ul>                                                                                    |
| 道路・交通 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東海北陸自動車道の荘川 IC があり、中京圏や北陸圏とのアクセスが良好です。</li> <li>・ 国道 158 号と国道 156 号が地域の主要道路ですが、市中心部から遠く離れており、市街地方面への買い物や通勤等に時間がかかります。</li> <li>・ 公共交通は、地域内の主要路線で自主運行バスを運行しているほか、国道 158 号では幹線バス（荘川線）が運行されています。</li> </ul>                                                                         |
| 景観資源等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一色・惣則地区の一部は「荘川町一色惣則景観重点区域」に指定しており、住民により美しい農山村風景が保全されています。</li> <li>・ 平成 28 年に地域全域が白山ユネスコエコパークに認定され、貴重な自然環境とそれを維持可能に活用しているモデル地域として評価されています。</li> </ul>                                                                                                                            |

## 2. 地域づくりの方向性

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 都市活動拠点 | <p>●地域拠点【新湊・猿丸地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における生活や交流活動の拠点となる場所として、生活サービス関連施設等の集積により、日常生活における利便性の向上を図ります。</li> <li>・保育園や小・中学校等の複合化整備などにより、子どもの保育・教育環境等の向上を図ります。</li> <li>・都市拠点や地域拠点間、地域拠点と周辺を効率的・効果的に結ぶ地域公共交通システムの構築により、アクセスの向上を図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 都市連携軸  | <p>●広域連携軸</p> <p>道路：東海北陸自動車道</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東海北陸自動車道の4車線化により、広域交通の更なる利便性向上や各種産業の活性化などを図ります。</li> </ul> <p>●地域連携軸</p> <p>道路：国道156号、国道158号</p> <p>交通：幹線バス（庄川線）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道156号、国道158号の整備促進と適切な維持管理により、都市活動拠点間の連携や安全で快適な生活道路の確保などを図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 土地利用   | <p>●田園区域【庄川沿いなどに広がる田園集落地、ダナ高原の農地】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の適切な保全を図り、住環境と営農環境が調和した秩序ある土地利用を推進します。</li> <li>・農業振興施策との連携により優良農地の確保を図るとともに、より効果的な土地利用に向けた農業振興地域のあり方について検討をすすめます。</li> <li>・農地の集積や集団化、スマート農業の推進などによる農畜産業の生産性向上を図るとともに、農道・用排水路の改修などによる農業生産基盤の強化を図ります。</li> <li>・荒廃農地や耕作放棄地の再生・利用の促進などにより、農地の有効利用を図るとともに、水源かん養機能や良好な景観形成など多面的機能の維持を図ります。</li> <li>・気候の変動などに対応した適地適作を促進します。</li> <li>・庄川町一色惣則景観重点区域において、良好な農山村景観の保全と活用を図ります。</li> </ul> <p>●自然環境区域【白山山麓とその周辺】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白山国立公園及びその周辺の自然環境と生態系の保全を図るとともに、観光資源としての活用を図ります。</li> </ul> <p>●森林・山間区域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100年先を見据えた長期的な視点により、区域に応じた森林づくり（木材生産と環境保全）を推進します。</li> <li>・森林の適正な管理と整備により、土砂災害防止機能や水源かん養機能など森林の持つ多面的機能の維持・保全を図ります。</li> <li>・森林の無秩序な開発や違法伐採を抑制し、森林環境の保全を図ります。</li> <li>・山間集落においては、住環境の維持を図ります。</li> <li>・庄川源流や避暑地としての自然環境や景観の保全を図ります。</li> </ul> |

### 3. 地域づくり方針図



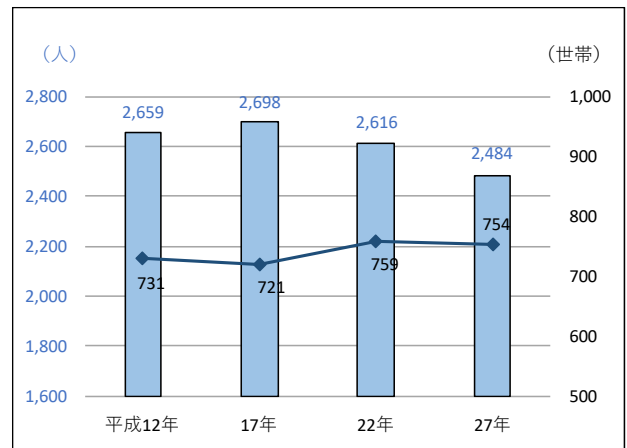
# 一之宮地域

## 1. 地域の概況

### ■位置



### ■人口及び世帯数の推移



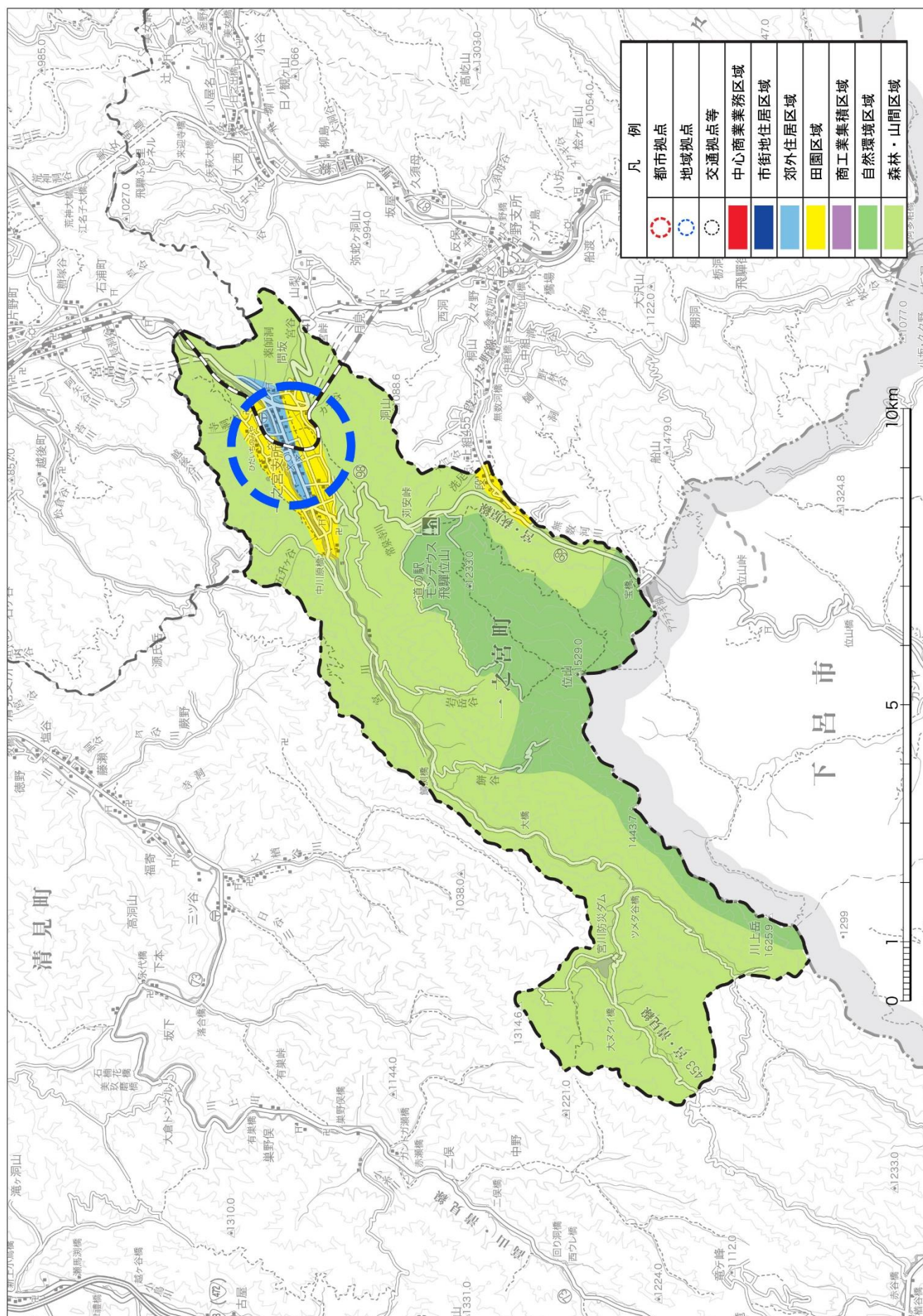
|       |                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要    | <ul style="list-style-type: none"> <li>一之宮地域は、市中心部の南側に位置しています。位山を中心に南北に分水嶺をなす源流の地であり、位山の麓の平地部に住居が集積している地域です。</li> <li>臥龍桜（国指定天然記念物）や宮峠などから望む美しい田園風景のほか、飛騨一宮水無神社など歴史・文化資源を有しています。</li> </ul>                                                                                  |
| 人口    | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27（2015）年の人口は 2,484 人で、市全体に対する割合は 2.8％です。</li> <li>人口は平成 17（2005）年と比べ 7.9％減（市内平均 7.3％減）となっています。</li> <li>年齢階層別の人口割合は、年少人口が 14.1％で減少傾向にあり、高齢者人口は 31.4％で増加傾向にあります。</li> <li>世帯数は平成 17（2005）年と比べ 4.6％増（市内平均 1.6％増）となっています。</li> </ul> |
| 土地利用  | <ul style="list-style-type: none"> <li>市内 10 地域の中で最も面積が狭い地域で、居住エリアも比較的コンパクトにまとまっています。</li> <li>支所庁舎周辺には、小中学校や保育園、公民館、歴史文化施設など、公共施設が集積しています。</li> <li>位山にはスキー場があり、ウィンタースポーツのほか、飛騨位山トレイルなどのスポーツイベントにも活用されています。</li> <li>市内で市有林を最も多く保有する地域です。</li> </ul>                        |
| 道路・交通 | <ul style="list-style-type: none"> <li>国道 41 号と JR 高山本線が地域内を南北に縦断しており、JR 飛騨一ノ宮駅があります。</li> <li>国道 41 号高山久々野間の石浦バイパス（宮高山バイパス及び宮峠トンネル）の整備がすすめられています。</li> <li>公共交通は、地域内の主要路線でデマンド（予約制）運行による自主運行バスをタクシー車両により運行しているほか、国道 41 号では幹線バス（高山・下呂線）が運行されています。</li> </ul>                 |
| 景観資源等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>JR 高山本線や宮峠からは、美しい田園風景を望むことができます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                           |

## 2. 地域づくりの方向性

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 都市活動拠点 | <p>●地域拠点【一之宮支所周辺】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における生活や交流活動の拠点となる場所として、生活サービス関連施設等の集積により、日常生活における利便性の向上を図ります。</li> <li>・都市拠点や地域拠点間、地域拠点と周辺を効率的・効果的に結ぶ地域公共交通システムの構築により、アクセスの向上を図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 都市連携軸  | <p>●広域連携軸</p> <p>道路：国道 41 号</p> <p>鉄道：JR 高山本線</p> <p>交通：幹線バス（高山・下呂線）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道 41 号石浦バイパスの整備促進により、広域交通の更なる利便性向上や災害時の輸送道路としての機能向上などを図ります。</li> <li>・関係機関への要請等により、JR 高山本線における鉄道の利便性向上を促進します。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 土地利用   | <p>●郊外住居区域【一之宮支所周辺に形成される住居地】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道 41 号石浦バイパスの整備により、今後更に交通の利便性向上が見込まれることから、市街地への道路アクセスの良さを活かした計画的な土地利用を推進します。</li> <li>・周辺の自然環境等と調和のとれた、戸建住宅が中心のゆとりのある住宅地の形成を図ります。</li> <li>・生活サービス関連施設の立地等により、日常生活における利便性の向上を図ります。</li> <li>・効率的で効果的な地域公共交通システムの構築により、アクセスの向上を図ります。</li> <li>・住宅地に近接した農地等において、必要に応じて住居系土地利用への転換などを検討します。</li> </ul> <p>●田園区域【宮川沿いの平坦地に広がる田園集落地】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の適切な保全を図り、住環境と営農環境が調和した秩序ある土地利用を推進します。</li> <li>・農業振興施策との連携により優良農地の確保を図るとともに、より効果的な土地利用に向けた農業振興地域のあり方について検討をすすめます。</li> <li>・農地の集積や集団化、スマート農業の推進などによる農畜産業の生産性向上を図るとともに、農道・用排水路の改修などによる農業生産基盤の強化を図ります。</li> <li>・荒廃農地や耕作放棄地の再生・利用の促進などにより、農地の有効利用を図るとともに、水源かん養機能や良好な景観形成など多面的機能の維持を図ります。</li> <li>・気候の変動などに対応した適地適作を促進します。</li> <li>・JR 高山本線や宮峠から望む、美しい田園風景の保全を図ります。</li> </ul> <p>●自然環境区域【位山舟山県立自然公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・位山とその周辺の自然環境の保全を図るとともに、健康づくりやスポーツ活動の場としての活用を図ります。</li> </ul> <p>●森林・山間区域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100 年先を見据えた長期的な視点により、区域に応じた森林づくり（木材生産と環境保全）を推進します。</li> <li>・森林の適正な管理と整備により、土砂災害防止機能や水源かん養機能など森林の持つ多面的機能の維持・保全を図ります。</li> <li>・森林の無秩序な開発や違法伐採を抑制し、森林環境の保全を図ります。</li> <li>・山間集落においては、住環境の維持を図ります。</li> </ul> |



### 3. 地域づくり方針図





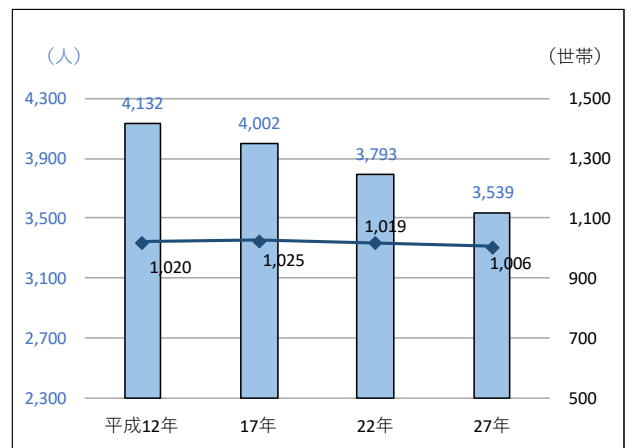
# 久々野地域

## 1. 地域の概況

### ■位置



### ■人口及び世帯数の推移

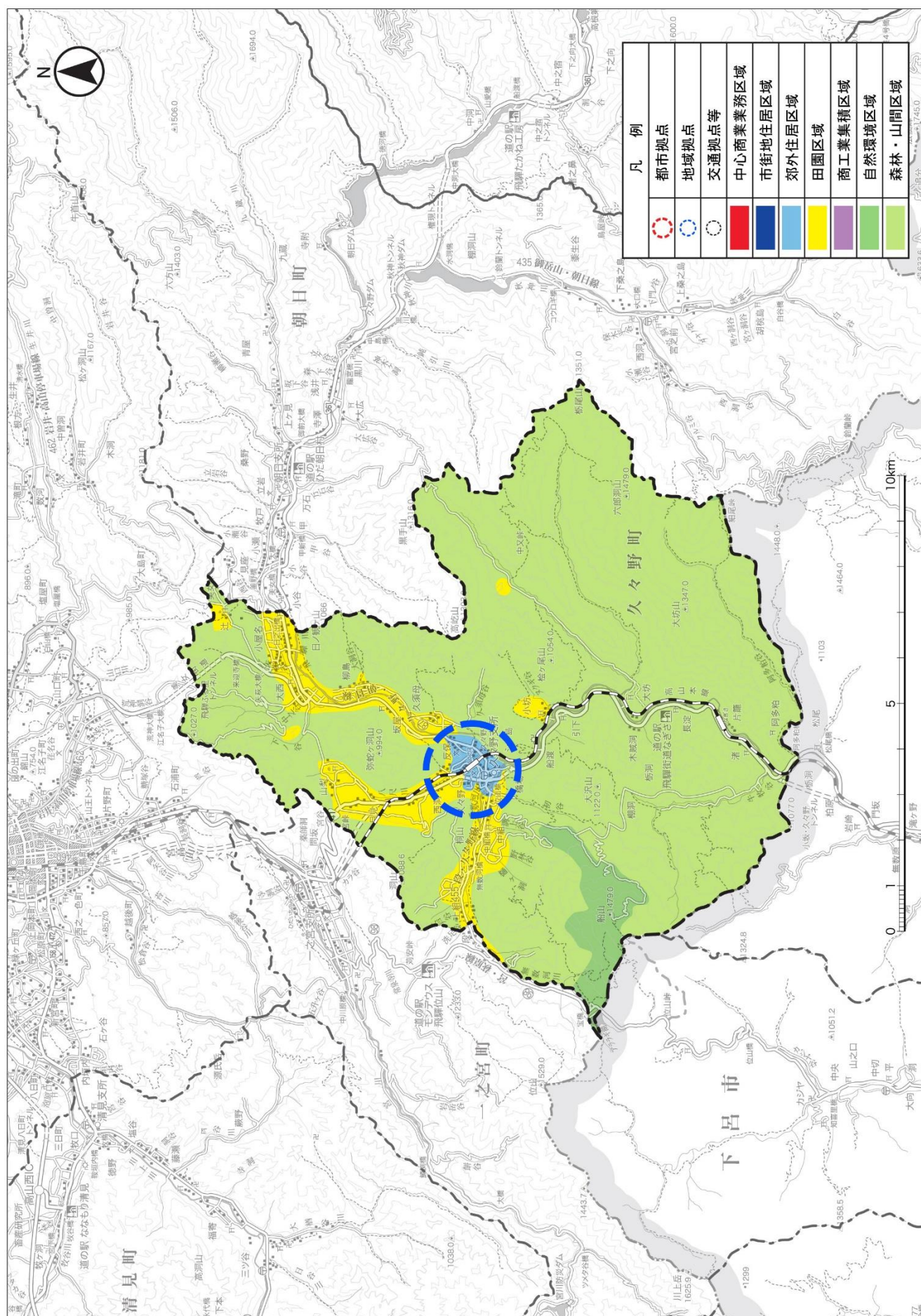


|       |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要    | <ul style="list-style-type: none"> <li>久々野地域は、市の南部、分水嶺の太平洋側に位置しています。位山・船山の麓に広がり、幹線道路や河川沿いに集落が点在している地域です。</li> <li>りんごや桃などの果樹をはじめ、高冷地野菜などの栽培が盛んな地域です。国道41号の整備により、安全性の向上や時間短縮など、市街地へのアクセス向上が期待されています。</li> </ul>                                                    |
| 人口    | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27（2015）年の人口は3,539人で、市全体に対する割合は4.0%です。</li> <li>人口は平成17（2005）年と比べ11.6%減（市内平均7.3%減）となっています。</li> <li>年齢階層別の人口割合は、年少人口が13.0%で減少傾向にあり、高齢者人口は35.6%で増加傾向にあります。</li> <li>世帯数は平成17（2005）年と比べ1.9%減（市内平均1.6%増）となっています。</li> </ul> |
| 土地利用  | <ul style="list-style-type: none"> <li>無数河地区には支所庁舎や診療所、福祉センター、保育園などが、久々野地区には小中学校や消防署、公民館などの公共施設が立地しています。</li> <li>飛騨川、無数河川、八尺川の3つの河川沿いに集落が点在しています。</li> <li>船山にはスキー場があり、夏場にはひまわり園が開設されています。</li> </ul>                                                            |
| 道路・交通 | <ul style="list-style-type: none"> <li>国道41号とJR高山本線が地域内を南北に縦断しており、JR久々野駅とJR渚駅があります。</li> <li>国道41号石浦バイパス（宮高山バイパス及び宮峠トンネル）の整備がすすめられています。</li> <li>公共交通は、地域内の主要路線でデマンド（予約制）運行による自主運行バスをタクシー車両により運行しているほか、国道41号では幹線バス（高山・下呂線）が運行されています。</li> </ul>                   |
| 景観資源等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>船山山麓に広がる果樹園での桃の花の咲く時期の美しい風景や夏のスキー場でのひまわり園、飛騨川での鮎釣り、市内で唯一の尺玉の花火が上がる納涼夏まつりなどが風物詩となっています。</li> </ul>                                                                                                                          |

## 2. 地域づくりの方向性

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 都市活動拠点 | <p>●地域拠点【無数河・久々野地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における生活や交流活動の拠点となる場所として、生活サービス関連施設等の集積により、日常生活における利便性の向上を図ります。</li> <li>・南高山地域のセンター機能を有した診療所整備などにより、地域医療の保持と住環境の向上を図ります。</li> <li>・都市拠点や地域拠点間、地域拠点と周辺を効率的・効果的に結ぶ地域公共交通システムの構築により、アクセスの向上を図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 都市連携軸  | <p>●広域連携軸</p> <p>道路：国道 41 号<br/>鉄道：JR 高山本線<br/>交通：幹線バス（高山・下呂線）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道 41 号石浦バイパスの整備促進により、広域交通の更なる利便性向上や災害時の輸送道路としての機能向上などを図ります。</li> <li>・国道 41 号の落石対策や老朽化対策などの促進により、防災力の向上を図ります。</li> <li>・関係機関への要請等により、JR 高山本線における鉄道の利便性向上を促進します。</li> </ul> <p>●地域連携軸</p> <p>道路：国道 361 号、県道久々野朝日線<br/>交通：幹線バス（朝日線）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道 361 号の整備促進と適切な維持管理により、都市活動拠点間の連携や安全で快適な生活道路の確保などを図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 土地利用   | <p>●郊外住居区域【無数河・久々野地区に形成される住居地】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道 41 号石浦バイパスの整備により、今後更に交通の利便性向上が見込まれることから、市街地への道路アクセスの良さを活かした計画的な土地利用を推進します。</li> <li>・周辺の自然環境等と調和のとれた、戸建住宅が中心のゆとりのある住宅地の形成を図ります。</li> <li>・生活サービス関連施設の立地等により、日常生活における利便性の向上を図ります。</li> <li>・効率的で効果的な地域公共交通システムの構築により、アクセスの向上を図ります。</li> <li>・住宅地に近接した農地等において、必要に応じて住居系土地利用への転換などを検討します。</li> </ul> <p>●田園区域【無数河川、八尺川、飛騨川沿いに広がる田園集落地など】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の適切な保全を図り、住環境と営農環境が調和した秩序ある土地利用を推進します。</li> <li>・農業振興施策との連携により優良農地の確保を図るとともに、より効果的な土地利用に向けた農業振興地域のあり方について検討をすすめます。</li> <li>・農地の集積や集団化、スマート農業の推進などによる農畜産業の生産性向上を図るとともに、農道・用排水路の改修などによる農業生産基盤の強化を図ります。</li> <li>・荒廃農地や耕作放棄地の再生・利用の促進などにより、農地の有効利用を図るとともに、水源かん養機能や良好な景観形成など多面的機能の維持を図ります。</li> <li>・気候の変動などに対応した適地適作を促進します。</li> <li>・船山山麓に広がる果樹園や田園風景などの美しい景観の保全を図ります。</li> </ul> <p>●自然環境区域【位山舟山県立自然公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・船山とその周辺の自然環境の保全を図るとともに、健康づくりやスポーツ活動の場としての活用を図ります。</li> </ul> <p>●森林・山間区域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100 年先を見据えた長期的な視点により、区域に応じた森林づくり（木材生産と環境保全）を推進します。</li> <li>・森林の適正な管理と整備により、土砂災害防止機能や水源かん養機能など森林の持つ多面的機能の維持・保全を図ります。</li> <li>・森林の無秩序な開発や違法伐採を抑制し、森林環境の保全を図ります。</li> <li>・山間集落においては、住環境の維持を図ります。</li> </ul> |

## 3. 地域づくり方針図





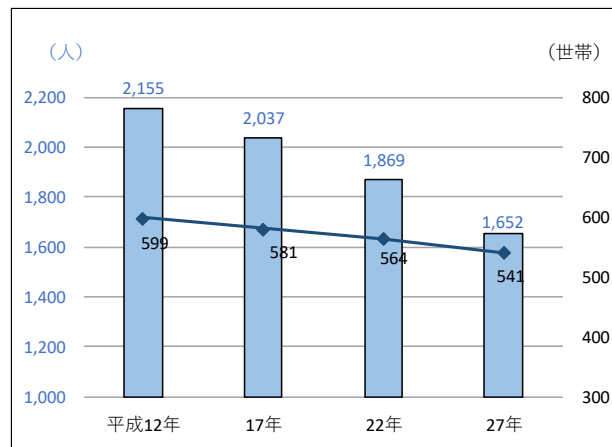
# 朝日地域

## 1. 地域の概況

### ■位置



### ■人口及び世帯数の推移



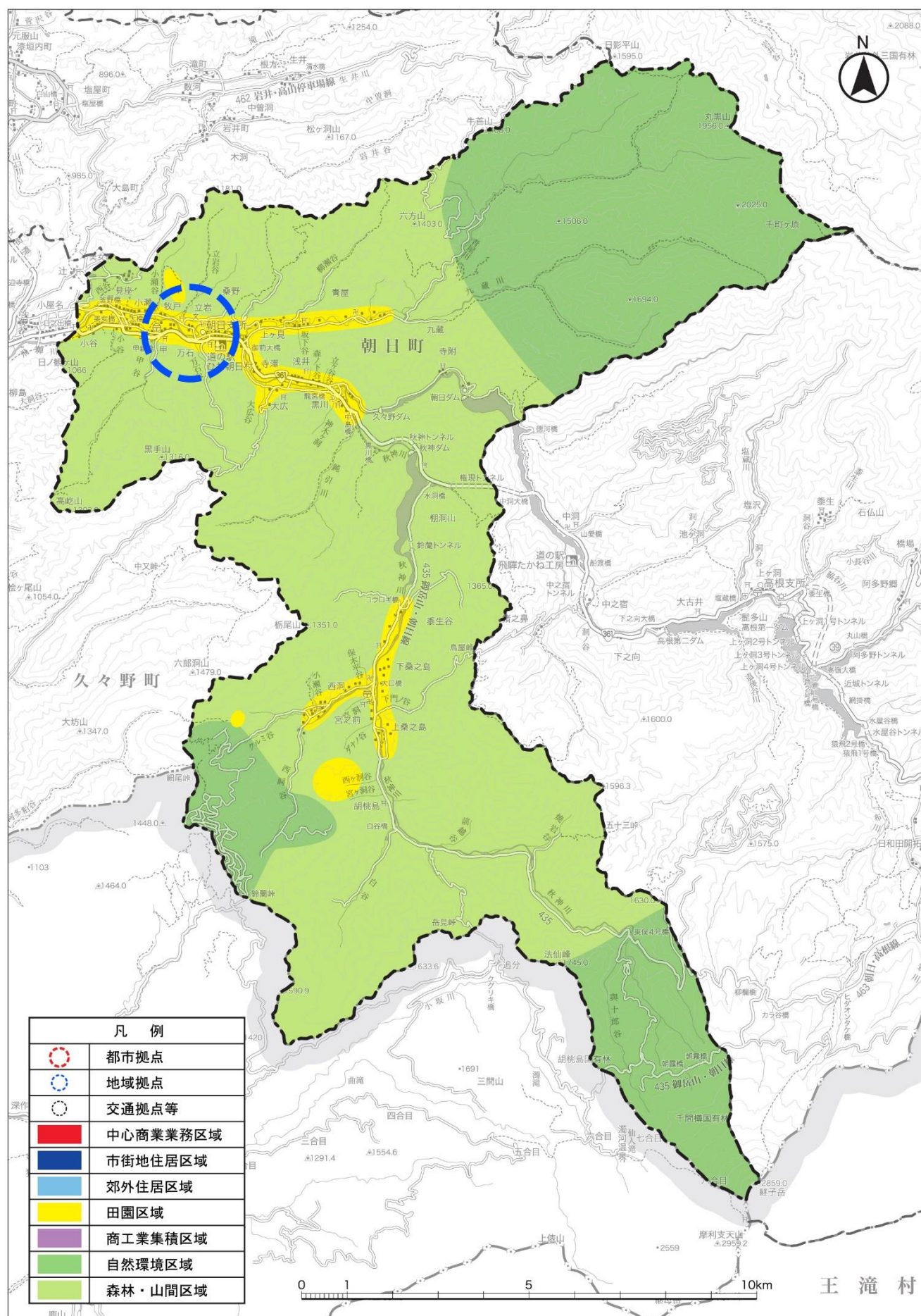
|       |                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要    | <ul style="list-style-type: none"> <li>朝日地域は、市の南東部に位置しています。東の乗鞍岳と南の御嶽山を水源とする飛騨川が地域内を西流し、美女高原や鈴蘭高原などを有している地域です。</li> <li>トマト、ホウレンソウをはじめ、高地での大根の栽培のほか、畜産業も盛んな地域です。</li> </ul>                                                                                                   |
| 人口    | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27（2015）年の人口は 1,652 人で、市全体に対する割合は 1.9%です。</li> <li>人口は平成 17（2005）年と比べ 18.9%減（市内平均 7.3%減）となっています。</li> <li>年齢階層別の人口割合は、年少人口が 10.6%で減少傾向にあり、高齢者人口は 38.3%で増加傾向にあります。</li> <li>世帯数は平成 17（2005）年と比べ 6.9%減（市内平均 1.6%増）となっています。</li> </ul> |
| 土地利用  | <ul style="list-style-type: none"> <li>万石地区には、支所庁舎や診療所、福祉センター、小学校、保育園など、公共施設が集積しています。</li> <li>国道 361 号沿いや秋神川沿いなどに集落が点在しています。</li> <li>農家戸数が減少してきており、耕作放棄地が多くあります。</li> <li>高原の立地を活かしたカクレハ高原や胡桃島キャンプ場、美女高原公園、鈴蘭高原ゴルフ場などがあります。</li> </ul>                                      |
| 道路・交通 | <ul style="list-style-type: none"> <li>国道 361 号が地域内を東西に横断しています。</li> <li>公共交通は、地域内の主要路線でデマンド（予約制）運行による自主運行バスをタクシー車両により運行しているほか、国道 361 号を経由して秋神温泉までは、幹線バス（朝日線）が運行されています。</li> </ul>                                                                                            |
| 景観資源等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>立岩地区の一部は「朝日町立岩景観重点区域」に指定されており、旧江戸街道沿いの集落に、良好な農山村風景が形成しています。</li> </ul>                                                                                                                                                                 |

## 2. 地域づくりの方向性

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 都市活動拠点 | <p>●地域拠点【万石・甲地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における生活や交流活動の拠点となる場所として、生活サービス関連施設等の集積により、日常生活における利便性の向上を図ります。</li> <li>・都市拠点や地域拠点間、地域拠点と周辺を効率的・効果的に結ぶ地域公共交通システムの構築により、アクセスの向上を図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 都市連携軸  | <p>●地域連携軸</p> <p>道路：国道 361 号、県道久々野朝日線</p> <p>交通：幹線バス（朝日線）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道 361 号の整備促進と適切な維持管理により、都市活動拠点間の連携や安全で快適な生活道路の確保などを図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 土地利用   | <p>●田園区域【飛騨川、青屋川、秋神川沿いに広がる田園集落地など】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の適切な保全を図り、住環境と営農環境が調和した秩序ある土地利用を推進します。</li> <li>・農業振興施策との連携により優良農地の確保を図るとともに、より効果的な土地利用に向けた農業振興地域のあり方について検討をすすめます。</li> <li>・農地の集積や集団化、スマート農業の推進などによる農畜産業の生産性向上を図るとともに、農道・用排水路の改修などによる農業生産基盤の強化を図ります。</li> <li>・荒廃農地や耕作放棄地の再生・利用の促進などにより、農地の有効利用を図るとともに、水源かん養機能や良好な景観形成など多面的機能の維持を図ります。</li> <li>・気候の変動などに対応した適地適作を促進します。</li> <li>・朝日町立岩景観重点区域において、良好な農山村景観の保全を図ります。</li> </ul> <p>●自然環境区域【御嶽山県立自然公園、鈴蘭高原、カクレハ高原、乗鞍山麓】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高地や高原などの自然特性を活かしたスポーツ・レクリエーション機能の充実を図り、健康づくりやスポーツ活動の場としての活用を図ります。</li> </ul> <p>●森林・山間区域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100 年先を見据えた長期的な視点により、区域に応じた森林づくり（木材生産と環境保全）を推進します。</li> <li>・森林の適正な管理と整備により、土砂災害防止機能や水源かん養機能など森林の持つ多面的機能の維持・保全を図ります。</li> <li>・森林の無秩序な開発や違法伐採を抑制し、森林環境の保全を図ります。</li> <li>・山間集落においては、住環境の維持を図ります。</li> </ul> |



## 3. 地域づくり方針図



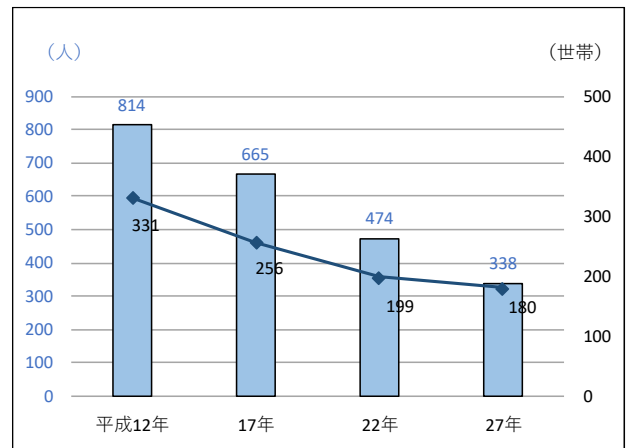
# 高根地域

## 1. 地域の概況

### ■位置



### ■人口及び世帯数の推移



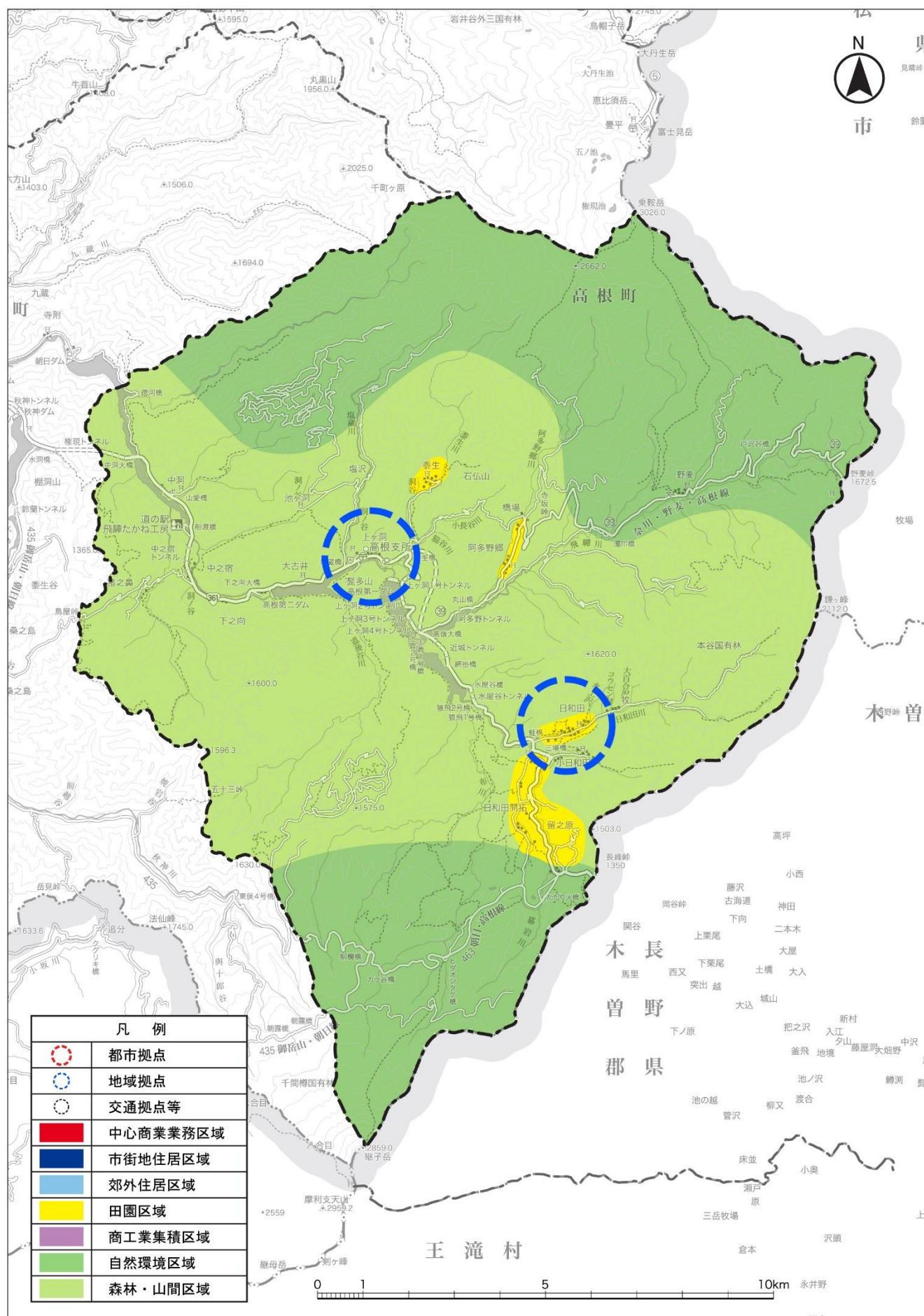
|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要    | <ul style="list-style-type: none"> <li>高根地域は、市の東端、長野県境に位置し、北に乗鞍岳、南に御嶽山と二つの3千メートル級の山に囲まれた地域です。</li> <li>裾野に広がる高原では、タカネコーンや火畑そばなどの農産物の栽培が行われているほか、標高の高さを活かした高地トレーニング施設が整備されています。</li> </ul>                                                                                                                                           |
| 人口    | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27(2015)年の人口は338人で、市内10地域中最小であり、市全体に対する割合は0.4%です。</li> <li>人口は平成17(2005)年と比べ49.2%減(市内平均7.3%減)となっており、市内で最も高い減少率となっています。</li> <li>年齢階層別の人口割合は、年少人口が2.4%、高齢者人口は55.3%で、少子高齢化が進み過疎化が著しい状況となっています。</li> <li>世帯数は平成17(2005)年と比べ29.7%減(市内平均1.6%増)と、市内で最も高い減少率となっており、空き家率も最も高い地域となっています。</li> </ul> |
| 土地利用  | <ul style="list-style-type: none"> <li>上ヶ洞地区には支所庁舎や診療所、福祉センターなどの公共施設が集積していますが、小中学校は統廃合により朝日地域に通学しています。</li> <li>少人数集落が広範囲に点在していますが、日和田地区には比較的、居住が集積しています。</li> <li>御嶽山の麓にある飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアのほか、雄大な自然環境を活かしたキャンプ場が4箇所あります。</li> </ul>                                                                                               |
| 道路・交通 | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の中央部を貫く国道361号が、高山から木曽を経由して伊那までを結び、東へは県道奈川野麦高根線で松本とつながっています。</li> <li>市中心部から遠く離れており、市街地方面への買い物や通勤等に時間がかかります。</li> <li>公共交通の運行がないため、公共交通空白地有償運送事業による「たかね号」が、地域内で運行されています。</li> </ul>                                                                                                         |
| 景観資源等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の広範囲にわたり「高根景観重点区域」を指定しており、乗鞍岳、御嶽山の山麓に広がる高原と一体となった優れた自然景観が形成されています。</li> <li>野麦峠をはじめ、石仏や街道など、歴史・文化遺産が残されています。</li> </ul>                                                                                                                                                                    |

## 2. 地域づくりの方向性

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 都市活動拠点 | <p>●地域拠点【上ヶ洞地区、日和田地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における生活や交流活動の拠点となる場所として、生活サービス関連施設等の集積により、日常生活における利便性の向上を図ります。</li> <li>・都市拠点や地域拠点間、地域拠点と周辺を効率的・効果的に結ぶ地域公共交通システムの構築により、アクセスの向上を図ります。</li> <li>・多目的センターの整備により、利便性の高い公共サービスの提供を図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 都市連携軸  | <p>●地域連携軸</p> <p>道路：国道 361 号</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道 361 号の整備促進と適切な維持管理により、都市活動拠点間の連携や安全で快適な生活道路の確保などを図ります。</li> <li>・隣接する長野県木曽町、伊那市などとの連携により、国道 361 号を通じた生活圏の形成を図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 土地利用   | <p>●田園区域【日和田地区などに広がる田園集落地】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の適切な保全を図り、住環境と営農環境が調和した秩序ある土地利用を推進します。</li> <li>・農業振興施策との連携により優良農地の確保を図るとともに、より効果的な土地利用に向けた農業振興地域のあり方について検討をすすめます。</li> <li>・農地の集積や集団化、スマート農業の推進などによる農畜産業の生産性向上を図るとともに、農道・用排水路の改修などによる農業生産基盤の強化を図ります。</li> <li>・荒廃農地や耕作放棄地の再生・利用の促進などにより、農地の有効利用を図るとともに、水源かん養機能や良好な景観形成など多面的機能の維持を図ります。</li> <li>・気候の変動などに対応した適地適作を促進します。</li> <li>・美しい農山村風景と歴史文化の保全・活用により、交流人口や関係人口の拡大を図ります。</li> </ul> <p>●自然環境区域【御嶽山県立自然公園、乗鞍山麓】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高地や高原などの自然特性を活かしたスポーツ・レクリエーション機能の充実により、健康づくりやスポーツ活動の場としての活用を図ります。</li> <li>・高根景観重点区域において、良好な自然景観の保全を図ります。</li> <li>・豊かな自然環境を活用して運営されている飛騨御岳牧場による畜産振興を図ります。</li> </ul> <p>●森林・山間区域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100 年先を見据えた長期的な視点により、区域に応じた森林づくり（木材生産と環境保全）を推進します。</li> <li>・森林の適正な管理と整備により、土砂災害防止機能や水源かん養機能など森林の持つ多面的機能の維持・保全を図ります。</li> <li>・森林の無秩序な開発や違法伐採を抑制し、森林環境の保全を図ります。</li> <li>・山間集落においては、住環境の維持を図ります。</li> </ul> |



## 3. 地域づくり方針図



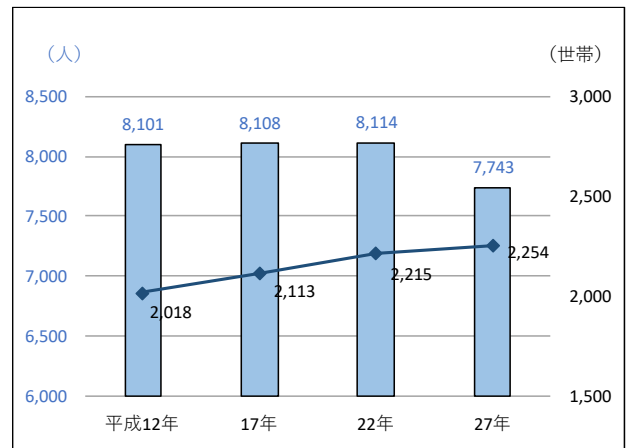
# 国府地域

## 1. 地域の概況

### ■位置



### ■人口及び世帯数の推移



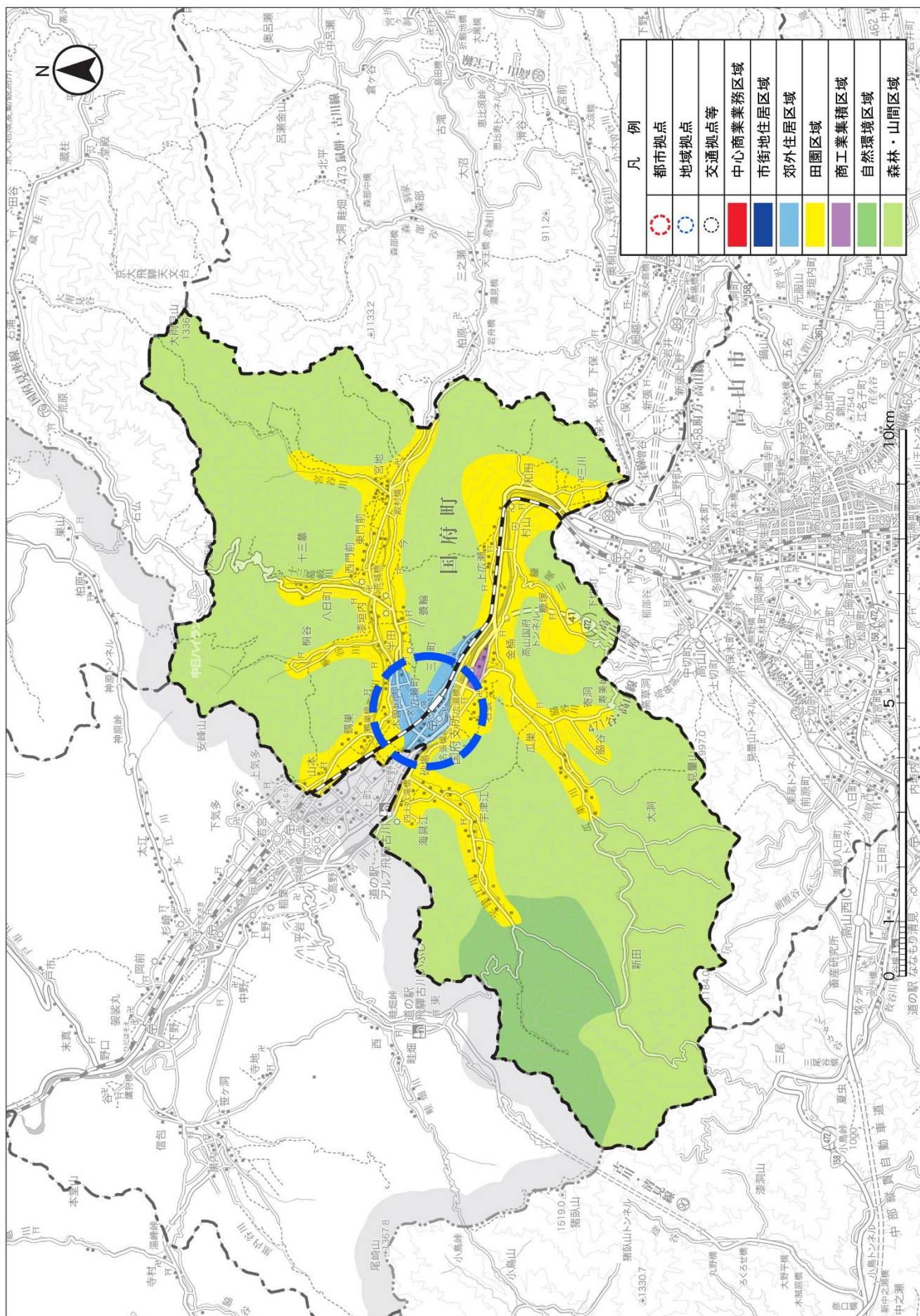
|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要    | <ul style="list-style-type: none"> <li>国府地域は、市の北部に位置し、宮川と荒城川に沿って盆地が広がる地域で、国宝「安国寺経蔵」をはじめとした歴史遺産を有しています。</li> <li>国道 41 号沿線や JR 飛騨国府駅周辺には商業施設が集積し、その周囲には住宅地が形成されています。</li> </ul>                                                                                                                                             |
| 人口    | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27 (2015) 年の人口は 7,743 人で、市全体に対する割合は 8.7% です。</li> <li>人口は平成 17 (2005) 年と比べ 4.5% 減少していますが、市内平均 (7.3% 減) よりはやや緩やかな減少傾向となっています。</li> <li>年齢階層別の人口割合は、年少人口が 13.5% で減少傾向にあり、高齢者人口は 32.9% で増加傾向にあります。</li> <li>世帯数は平成 17 (2005) 年と比べ 6.7% 増 (市内平均 1.6% 増) となっており、増加傾向にあります。</li> </ul> |
| 土地利用  | <ul style="list-style-type: none"> <li>三川・上広瀬・村山・金桶・名張・広瀬町・三日町・木曽垣内地区は、都市計画区域に指定されています。</li> <li>広瀬町地区には支所庁舎や小学校などが、三日町地区には中学校、保育園などが、木曽垣内地区には福祉センターなどが立地しており、JR 飛騨国府駅の近くに公共施設が集積しています。</li> <li>宮川、荒城川沿いに大型圃場整備された農地では、米や麦の生産が行われています。</li> </ul>                                                                         |
| 道路・交通 | <ul style="list-style-type: none"> <li>国道 41 号と JR 高山本線が、地域の中央部を南北に貫いており、JR 飛騨国府駅があります。</li> <li>国道 41 号高山国府バイパスの開通により、市中心部とのアクセスが向上しています。</li> <li>公共交通は、地域内の主要路線で自主運行バスを運行しているほか、国道 41 号等では幹線バス (古川・神岡線) が、県道国府見座線では幹線バス (国府・上宝線) が運行されています。</li> </ul>                                                                  |
| 景観資源等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>飛騨唯一の国宝建造物である安国寺経蔵をはじめ、荒城神社、阿多由太神社、熊野神社、広瀬城跡などの中世の社寺建築や遺構が、農村風景とともに歴史的景観を形成しています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                        |



## 2. 地域づくりの方向性

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 都市活動拠点 | <p>●地域拠点【広瀬町・三日町・木曾垣内地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における生活や交流活動の拠点となる場所として、生活サービス関連施設等の集積により、日常生活における利便性の向上を図ります。</li> <li>・都市拠点や地域拠点間、地域拠点と周辺を効率的・効果的に結ぶ地域公共交通システムの構築により、アクセスの向上を図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 都市連携軸  | <p>●広域連携軸</p> <p>道路：国道 41 号<br/>鉄道：JR 高山本線<br/>交通：幹線バス（古川・神岡線）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関への要請等により、JR 高山本線における鉄道の利便性向上を促進します。</li> </ul> <p>●地域連携軸</p> <p>道路：県道国府見座線<br/>交通：幹線バス（国府・上宝線）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県道国府見座線の整備促進と適切な維持管理により、都市活動拠点間の連携や安全で快適な生活道路の確保などを図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 土地利用   | <p>●郊外住居区域【広瀬町・三日町・木曾垣内地区に形成される住居地】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地への道路アクセスの良さを活かした計画的な土地利用を推進します。</li> <li>・周辺の自然環境等と調和のとれた、戸建住宅が中心のゆとりのある住宅地の形成を図ります。</li> <li>・生活サービス関連施設の立地等により、日常生活における利便性の向上を図ります。</li> <li>・効率的で効果的な地域公共交通システムの構築により、アクセスの向上を図ります。</li> <li>・住宅地に近接した農地等において、必要に応じて住居系土地利用への転換などを検討します。</li> </ul> <p>●田園区域【宮川、荒城川沿いなどに広がる田園集落地】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の適切な保全を図り、住環境と営農環境が調和した秩序ある土地利用を推進します。</li> <li>・農業振興施策との連携により優良農地の確保を図るとともに、より効果的な土地利用に向けた農業振興地域のあり方について検討をすすめます。</li> <li>・農地の集積や集団化、スマート農業の推進などによる農畜産業の生産性向上を図るとともに、農道・用排水路の改修などによる農業生産基盤の強化を図ります。</li> <li>・荒廃農地や耕作放棄地の再生・利用の促進などにより、農地の有効利用を図るとともに、水源かん養機能や良好な景観形成など多面的機能の維持を図ります。</li> <li>・気候の変動などに対応した適地適作を促進します。</li> <li>・安国寺経蔵をはじめとする神社仏閣の保存・修理や広瀬城跡の保存・活用に向けた取り組み、周辺の景観保全などにより、歴史遺産の保存と活用を図ります。</li> </ul> <p>●商工業集積区域【金桶・名張地区の国道 41 号沿線】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通の利便性を活かした商工業施設等の集積を促進します。</li> <li>・周辺の住環境や自然環境との調和に配慮した秩序ある土地利用を推進します。</li> </ul> <p>●自然環境区域【宇津江四十八滝県立自然公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇津江四十八滝とその周辺の自然環境の保全を図るとともに、観光資源としての活用を図ります。</li> </ul> <p>●森林・山間区域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100 年先を見据えた長期的な視点により、区域に応じた森林づくり（木材生産と環境保全）を推進します。</li> <li>・森林の適正な管理と整備により、土砂災害防止機能や水源かん養機能など森林の持つ多面的機能の維持・保全を図ります。</li> <li>・森林の無秩序な開発や違法伐採を抑制し、森林環境の保全を図ります。</li> <li>・山間集落においては、住環境の維持を図ります。</li> </ul> |

### 3. 地域づくり方針図



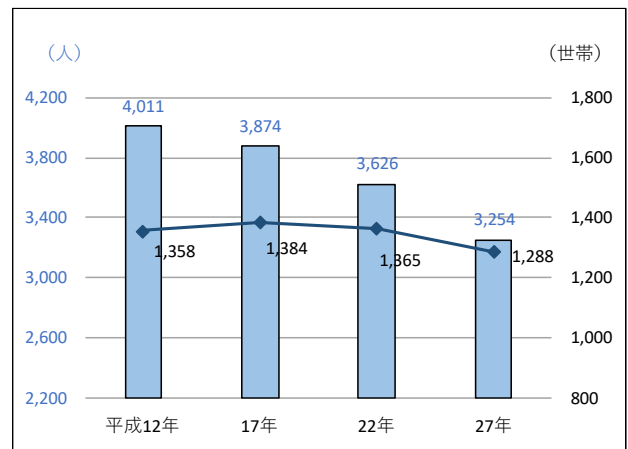
# 上宝・奥飛騨温泉郷地域

## 1. 地域の概況

### ■位置



### ■人口及び世帯数の推移



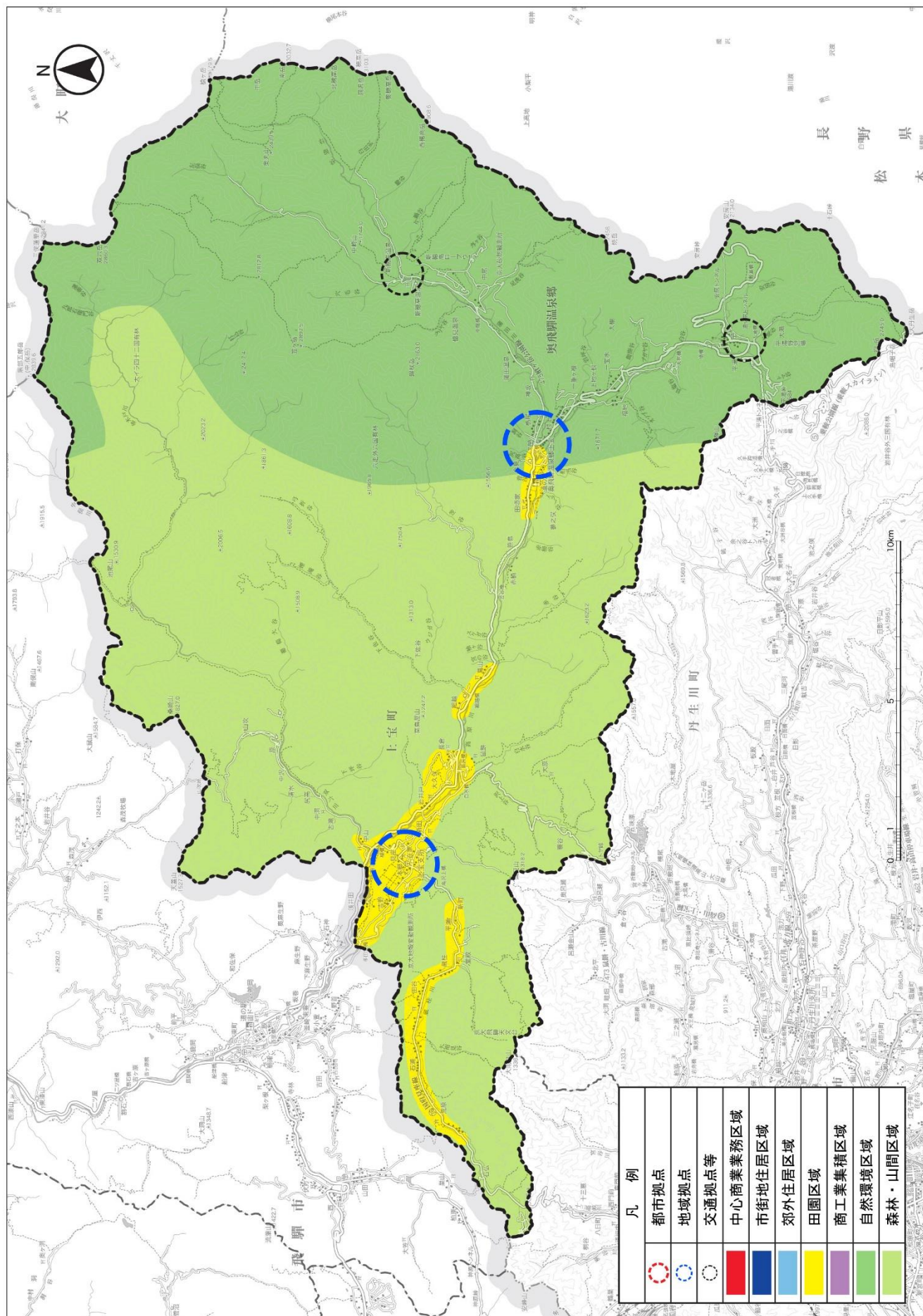
|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要    | <ul style="list-style-type: none"> <li>上宝・奥飛騨温泉郷地域は、市の北東部に位置し、市内 10 地域の中で最も広大な面積を有する地域です。</li> <li>上宝町では良質な蔬菜や水稻栽培などの農業が、奥飛騨温泉郷では中部山岳国立公園の自然景観や豊富な温泉を資源とした観光産業が盛んです。</li> </ul>                                                                                                                                                                             |
| 人口    | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27 (2015) 年の人口は 3,254 人で、市全体に対する割合は 3.6% です。</li> <li>人口は平成 17 (2005) 年と比べ 16.0% 減 (市内平均 7.3% 減) となっています。</li> <li>年齢階層別の人口割合は、年少人口が 10.3% で減少傾向にあり、高齢者人口は 37.9% で増加傾向にあります。</li> <li>世帯数は平成 17 (2005) 年と比べ 6.9% 減 (市内平均 1.6% 増) となっています。</li> </ul>                                                              |
| 土地利用  | <ul style="list-style-type: none"> <li>上宝町の本郷地区及び在家地区には、支所庁舎や保健センター、小中学校、保育園などが立地しており、奥飛騨温泉郷の栃尾地区には、診療所や小学校、保育園などが立地しています。</li> <li>市内で最も大きな高低差を有し、3 千メートル級の飛騨山脈に源を発して東西を横断する高原川により浸食された急峻な地形や、焼岳など 3 つの活火山を擁しています。</li> <li>奥飛騨温泉郷は、全国屈指の湧出量を誇る温泉に恵まれ、5 つの温泉地には多くの観光客が訪れています。</li> <li>上宝町では、担い手不足や高齢化などによる遊休・荒廃化の防止を目的とした、農地の集積・集団化がすすめられています。</li> </ul> |
| 道路・交通 | <ul style="list-style-type: none"> <li>国道 471 号が地域の中央部を東西に横断しているほか、県道国府見座線が高山市街地と上宝町とを結ぶ重要幹線となっています。</li> <li>国道 158 号が安房トンネルを経由して松本方面とつながっており、関東方面からの東の玄関口となっています。</li> <li>公共交通は、地域内の主要路線で自主運行バス及び幹線バス (平湯・新穂高線ほか) が運行されています。</li> </ul>                                                                                                                  |
| 景観資源等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>福地温泉周辺及び中尾高原周辺は「奥飛騨温泉郷景観重点区域」に指定しており、雄大な自然と調和した温泉地の景観が形成されています。</li> <li>傾斜地の小さな集落である長倉地区には、今も耕作が続く棚田など農山村風景が色濃く残されており「上宝町長倉景観重点区域」に指定しています。</li> </ul>                                                                                                                                                              |



## 2. 地域づくりの方向性

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 都市活動拠点 | <p>●地域拠点【本郷・在家地区、栃尾・村上地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における生活や交流活動の拠点となる場所として、生活サービス関連施設等の集積により、日常生活における利便性の向上を図ります。</li> <li>・都市拠点や地域拠点間、地域拠点と周辺を効率的・効果的に結ぶ地域公共交通システムの構築により、アクセスの向上を図ります。</li> </ul> <p>●交通拠点等</p> <p>【平湯地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中部縦貫自動車道の整備促進や国道 471 号の改良の促進により、市の東の玄関口、基幹道路の結節点としての機能充実に図ります。</li> <li>・新穂高、乗鞍、上高地など周辺の観光地への交通拠点としての機能強化を図ります。</li> </ul> <p>【新穂高地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飛騨山脈の登山基地や山岳観光の拠点として、拠点機能の整備をすすめます。</li> <li>・駐車場の確保などにより、路上駐車対策を図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 都市連携軸  | <p>●広域連携軸</p> <p>道路：中部縦貫自動車道</p> <p>交通：高速バス（新宿線ほか）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中部縦貫自動車道の整備促進により、広域交通の更なる利便性向上や各種産業の活性化などを図ります。</li> </ul> <p>●地域連携軸</p> <p>道路：国道 158 号、国道 471 号、県道国府見座線</p> <p>交通：幹線バス（平湯・新穂高線、国府・上宝線、富山・上宝神岡線）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道 158 号、国道 471 号、県道国府見座線の整備促進と適切な維持管理により、都市活動拠点間の連携や安全で快適な生活道路の確保などを図ります。</li> <li>・隣接する飛騨市との連携により、国道 471 号を通じた生活圏の形成を図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 土地利用   | <p>●田園区域【本郷地区や蔵柱川沿いなどに広がる田園集落地】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の適切な保全を図り、住環境と営農環境が調和した秩序ある土地利用を推進します。</li> <li>・農業振興施策との連携により優良農地の確保を図るとともに、より効果的な土地利用に向けた農業振興地域のあり方について検討をすすめます。</li> <li>・農地の集積や集団化、スマート農業の推進などによる農畜産業の生産性向上を図るとともに、農道・用排水路の改修などによる農業生産基盤の強化を図ります。</li> <li>・荒廃農地や耕作放棄地の再生・利用の促進などにより、農地の有効利用を図るとともに、水源かん養機能や良好な景観形成など多面的機能の維持を図ります。</li> <li>・気候の変動などに対応した適地適作を促進します。</li> <li>・上宝町長倉景観重点区域や蔵柱川に沿って点在する集落において、良好な農山村景観の保全と活用を図ります。</li> </ul> <p>●自然環境区域【中部山岳国立公園及び温泉地等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山岳景観や温泉など特色ある自然資源について、観光資源等としての活用を図るとともに、無電柱化整備などにより魅力向上を図ります。</li> <li>・急峻な地形や豊富な温泉資源を活かした小水力発電や地熱発電を契機とした産業の振興を図ります。</li> <li>・奥飛騨温泉郷景観重点区域において、良好な自然景観の保全と活用を図ります。</li> </ul> <p>●森林・山間区域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100 年先を見据えた長期的な視点により、区域に応じた森林づくり（木材生産と環境保全）を推進します。</li> <li>・森林の適正な管理と整備により、土砂災害防止機能や水源かん養機能など森林の持つ多面的機能の維持・保全を図ります。</li> <li>・森林の無秩序な開発や違法伐採を抑制し、森林環境の保全を図ります。</li> <li>・山間集落においては、住環境の維持を図ります。</li> </ul> |

### 3. 地域づくり方針図





## 第6章 計画の推進

### 1. 協働ですすめる都市づくり

市民、事業者、行政など多様な主体の協働により、本計画で示す、目指すべき都市構造「コンパクトな拠点をネットワークで結ぶ都市構造」の実現を図ります。

#### (1) 市民

- ・都市基本計画に即した適正な土地利用を図ります。
- ・都市づくりの主役であるという意識を高め、都市づくりや地域環境に関心を持ちます。
- ・地域活動やまちづくり活動に積極的に参加します。

#### (2) 事業者

- ・都市づくりに対する理解を深めるとともに、本計画に即した事業活動を展開します。
- ・創意・工夫による社会貢献に取り組むとともに、地域のまちづくりへ協力します。

#### (3) 行政

- ・都市計画制度をはじめとする各種法令等を活用するとともに、市民や事業者等の理解と協力を得ながら、計画的で適正な土地利用や効率的な都市基盤の整備をすすめます。
- ・協働のまちづくりの推進や市民・事業者等の取り組みの支援、市民等が都市づくりに参加できる機会の拡大、情報発信・人材育成などの取り組みをすすめます。
- ・国や県、近隣自治体等とのより一層の連携と協力体制の構築を図ります。

### 2. 計画の見直し

市総合計画及び都市計画区域マスタープランの見直し時や、急激な社会経済情勢の変化等により新たな都市づくりの課題や対応の必要性が生じた場合には、必要に応じて見直しを行います。